

「宇部市の文化芸術に関する市民アンケート」

調 査 結 果

平成 22 年（2010 年）5 月

「宇部市の文化芸術に関する市民アンケート」調査結果 目次

第1	調査の概要	p1
1	調査目的	p1
2	調査対象者	p1
3	調査方式	p1
4	調査期間	p1
5	回収結果	p1
第2	調査結果	p1
1	回答者の属性	p1
	(1) 性別	p1
	(2) 年齢	p1
	(3) 地区	p2
	(4) 就業形態	p2
2	宇部市の文化性について	p3
3	文化芸術活動へのかかわりについて	p6
4	文化に関する情報取得状況について	p20
5	文化によるまちづくりに向けた今後の取組みについて	p22
6	自由記述意見[抜粋]	p28

第1 調査の概要

1 調査目的

市民の文化活動の状況と「文化芸術」に関する考え方や関心について、市民の意見を汲み取り、今後文化芸術における施策を進める上で必要な市民ニーズを把握し、文化芸術振興の指針となる条例の制定、基本計画の策定等の基礎資料とする。

2 調査対象者

市内に在住する20歳以上の市民（外国人登録者を含む。）から各校区別の人口比及び男女比を考慮して3,000人を無作為抽出した。

3 調査方式

郵送方式・自記式（無記名）

4 調査期間

平成22年4月1日～平成22年4月20日

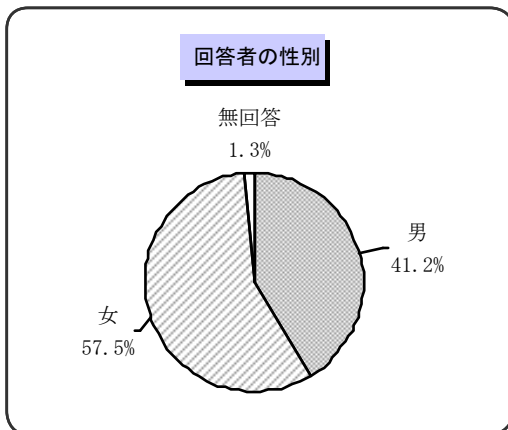
5 回収結果

総配付数	3,000
回収数	1,153
回収率	38.43%

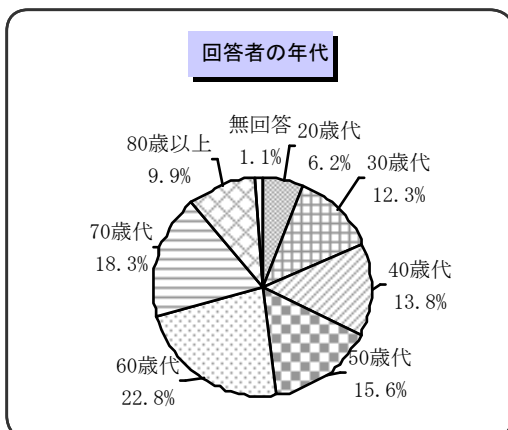
第2 調査結果

1 回答者の属性

（1）性別



（2）年齢



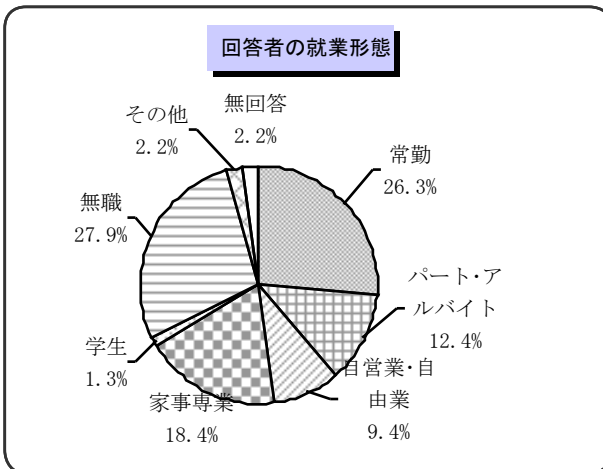
(3) 地区

		合計	東岐波	西岐波	常盤	恩田	岬	見初	上宇部	川上
全体		1,153 (100.0)	78 (6.8)	122 (10.6)	57 (4.9)	88 (7.6)	27 (2.3)	16 (1.4)	82 (7.1)	47 (4.1)
性別	男	475 (100.0)	36 (7.6)	60 (12.6)	24 (5.1)	35 (7.4)	12 (2.5)	6 (1.3)	32 (6.7)	18 (3.8)
	女	663 (100.0)	42 (6.3)	62 (9.4)	33 (5.0)	53 (8.0)	15 (2.3)	10 (1.5)	49 (7.4)	29 (4.4)
	無回答	15 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (6.7)	0 (0.0)

		神原	琴芝	新川	小羽山	鶉の島	藤山	原	厚南	黒石
全体		30 (2.6)	68 (5.9)	62 (5.4)	39 (3.4)	19 (1.6)	69 (6.0)	59 (5.1)	87 (7.5)	48 (4.2)
性別	男	13 (2.7)	25 (5.3)	21 (4.4)	15 (3.2)	7 (1.5)	27 (5.7)	29 (6.1)	28 (5.9)	22 (4.6)
	女	17 (2.6)	43 (6.5)	41 (6.2)	24 (3.6)	11 (1.7)	42 (6.3)	29 (4.4)	59 (8.9)	26 (3.9)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (6.7)	0 (0.0)	1 (6.7)	0 (0.0)	0 (0.0)

		西宇部	厚東	二俣瀬	小野	船木	万倉	吉部	無回答
全体		46 (4.0)	16 (1.4)	7 (0.6)	18 (1.6)	29 (2.5)	14 (1.2)	8 (0.7)	17 (1.5)
性別	男	17 (3.6)	8 (1.7)	4 (0.8)	8 (1.7)	15 (3.2)	5 (1.1)	3 (0.6)	5 (1.1)
	女	29 (4.4)	8 (1.2)	3 (0.5)	10 (1.5)	14 (2.1)	9 (1.4)	5 (0.8)	0 (0.0)
	無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	12 (80.0)

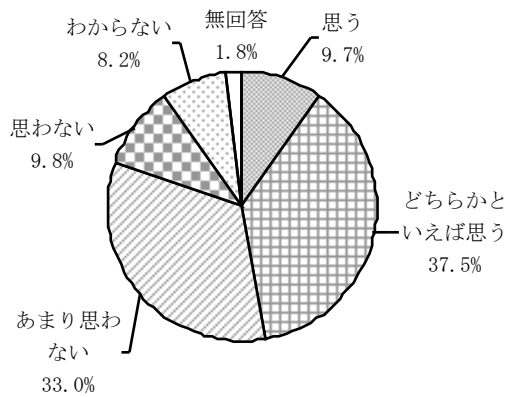
(4) 就業形態



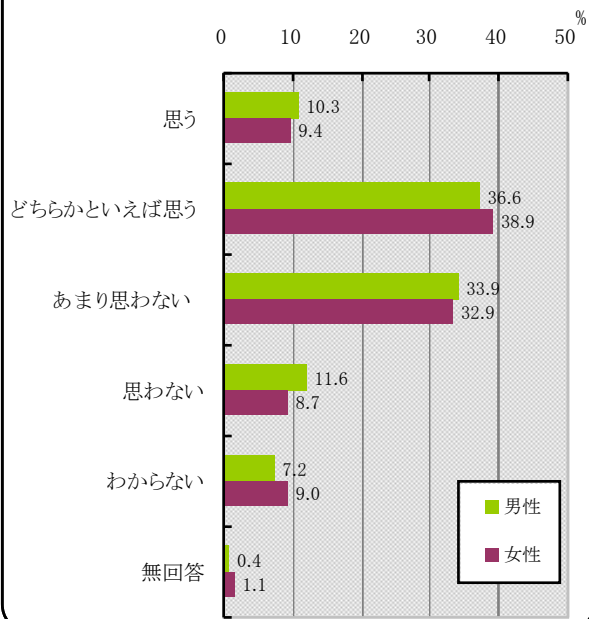
その他	家族従業 福祉施設通所
-----	----------------

2 宇部市の文化性について

【問5】宇部市は文化的なまちだと思うか(全体)

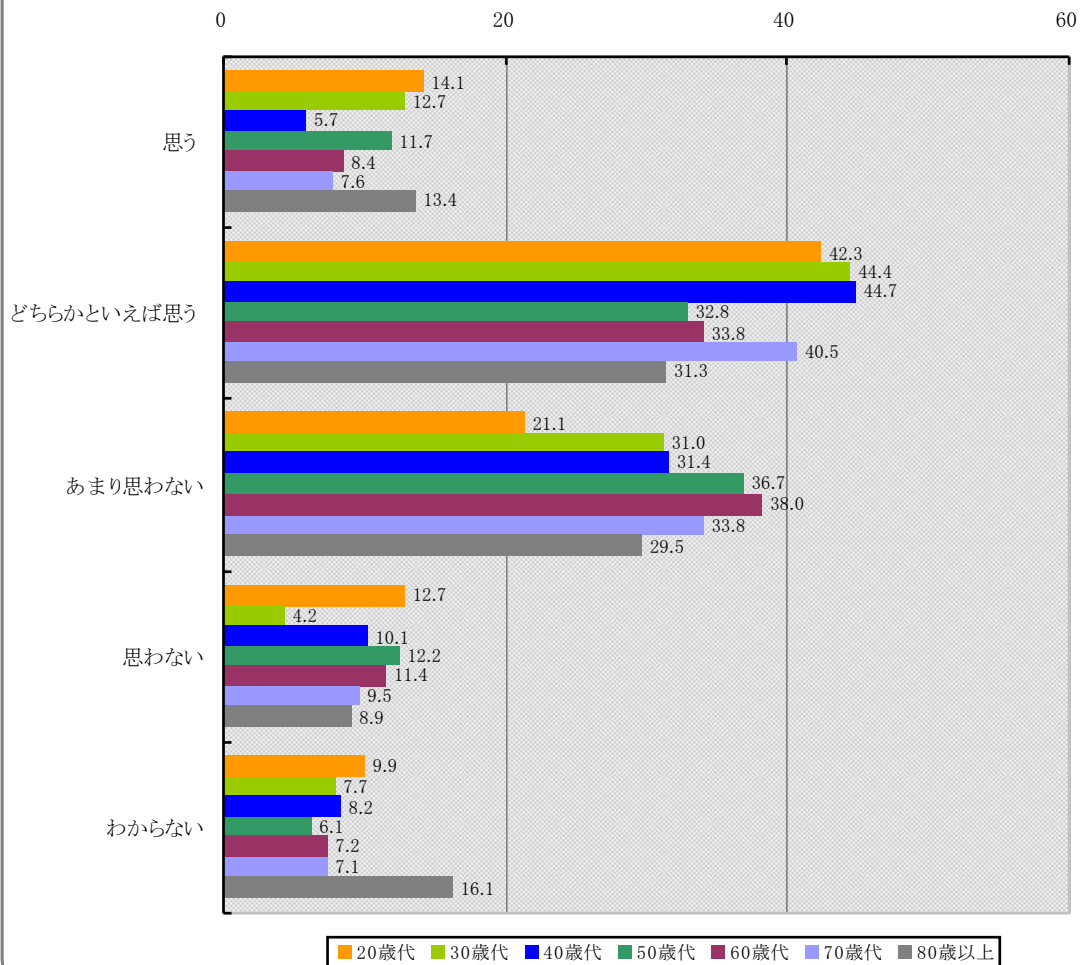


【問5】宇部市は文化的なまちだと思うか(男女別)



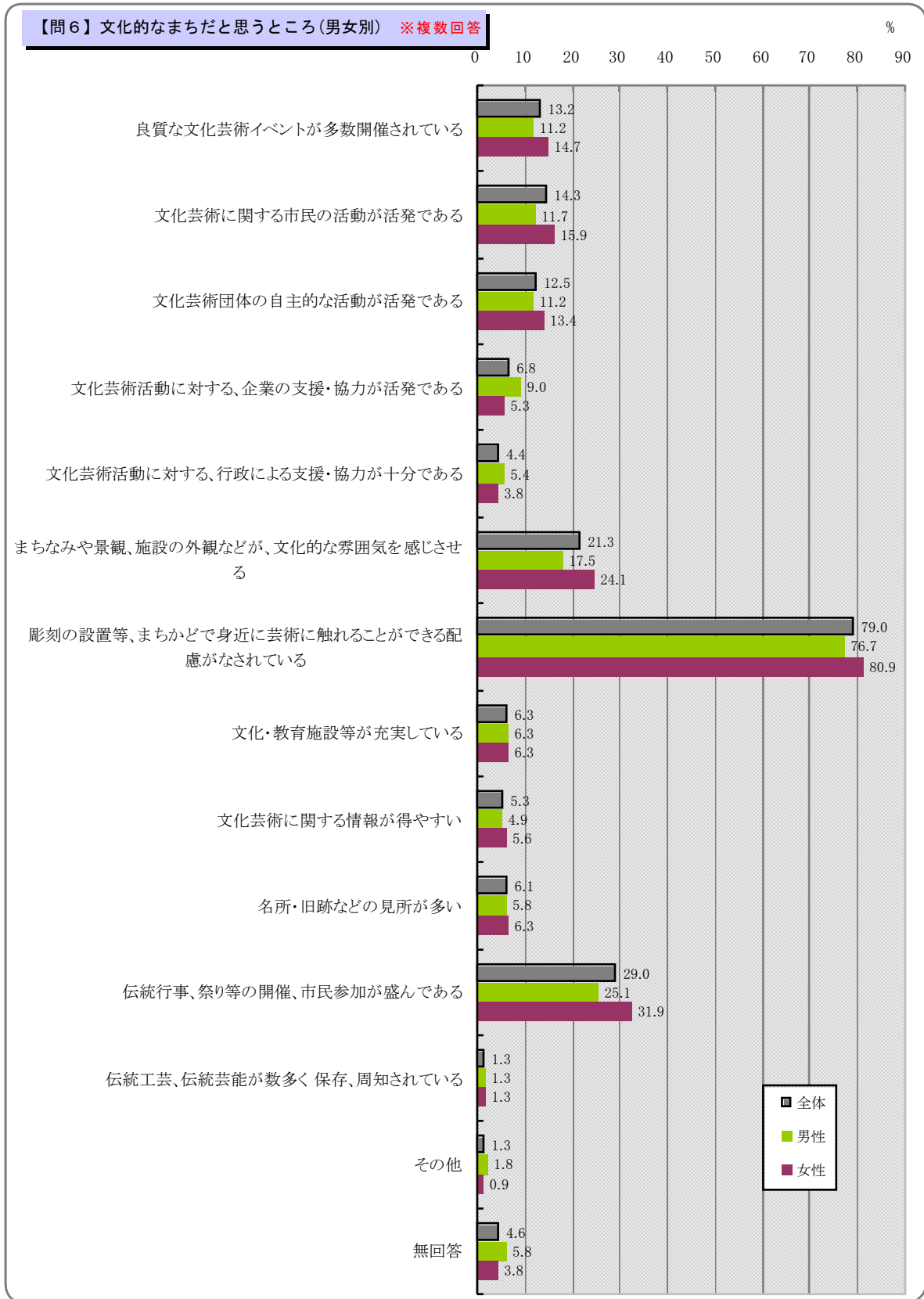
【問5】宇部市は文化的なまちだと思うか(年代別)

※複数回答



宇部市は文化的なまちだと思うかどうかでは、「思う」「どちらかといえば思う」が47.2%、「あまり思わない」「思わない」が42.8%とほぼ同数となっており、市民にとって「文化都市」というイメージはあまりないと言える。

男女別では女性が、年代別では若年層がやや肯定的である。



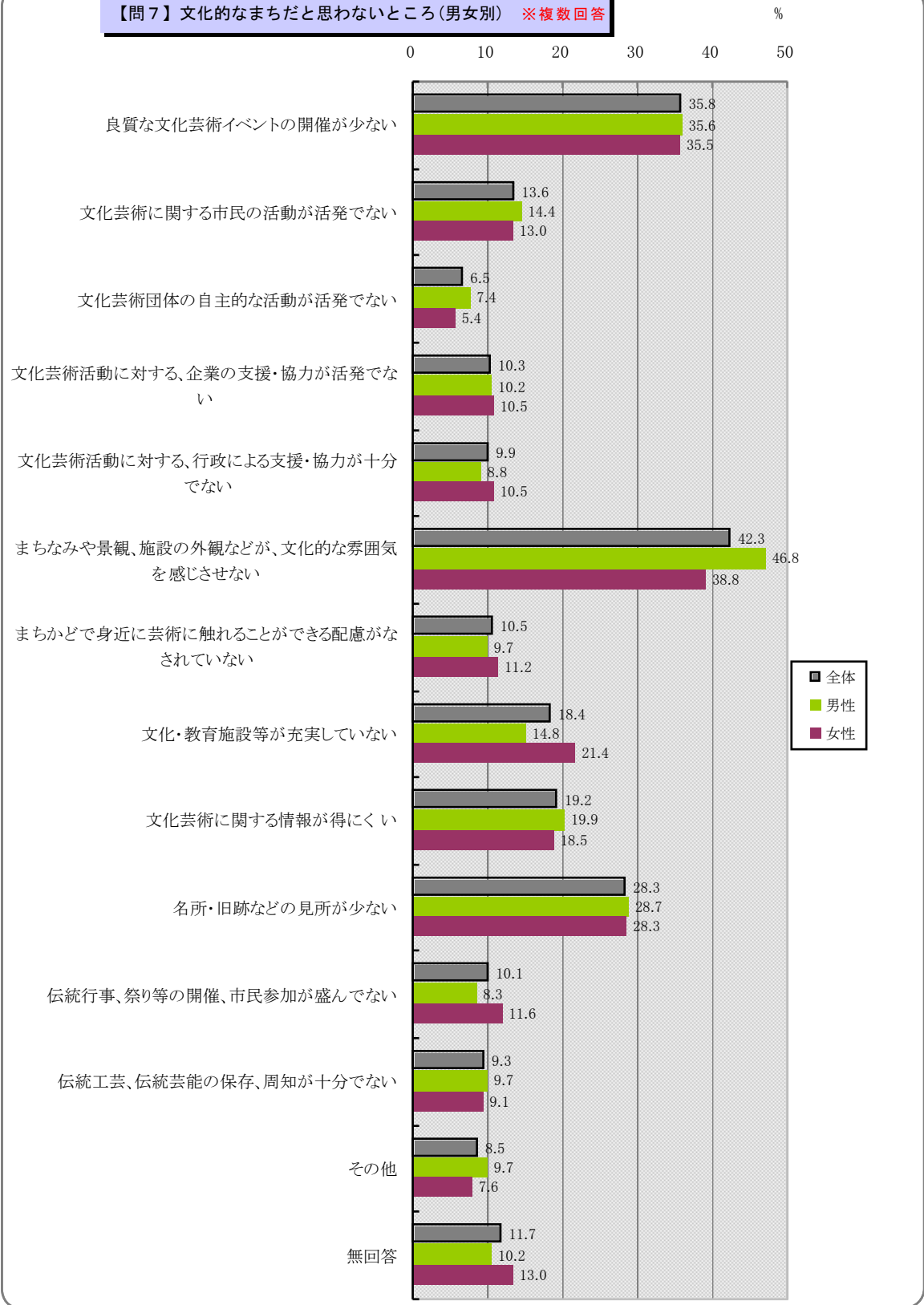
その他 記念館の存在が大きい

宇部市を文化的なまちだと思う理由として、「彫刻の設置等、まちがどで身近に芸術に触れることができる配慮がなされている」が79.0%と圧倒的に多く、彫刻によるまちづくりに文化的な印象を持つ市民が多いと言える。その次に、「伝統行事、祭り等の開催、市民参加が盛んである」29.0%、「まちなみや景観、施設の外観などが、文化的な雰囲気を感じさせる」21.3%と続いている。

その他、「文化芸術に関する市民の活動が活発である」、「良質な文化芸術イベントが多数開催されている」「文化芸術団体の自主的な活動が活発である」がそれぞれ10%を超えている。

男女別では、女性の回答数が多いが、「企業の支援・協力」、「行政の支援・協力」、「施設の充実」等の項目では男性が多い。

【問7】 文化的なまちだと思わないところ(男女別) ※複数回答



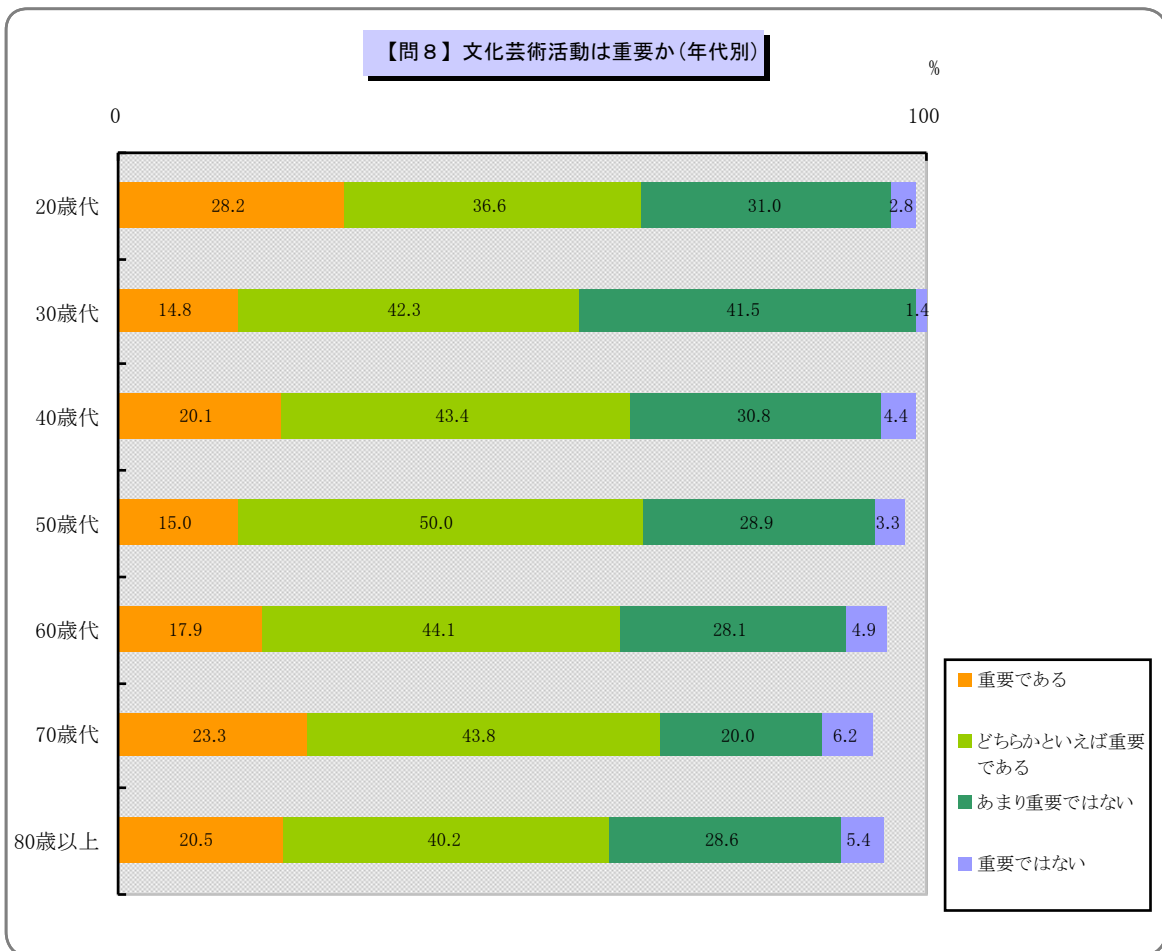
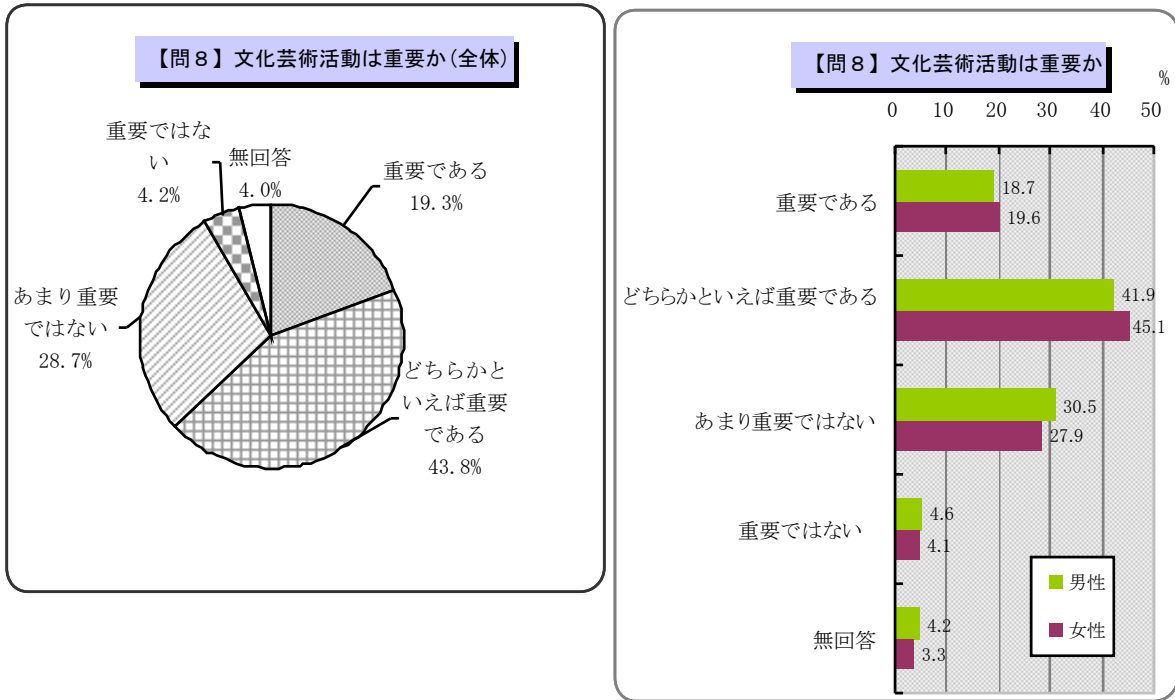
その他
 工業都市のイメージが強すぎる
 音楽、彫刻のイメージはあるが、美術(絵画)のイメージがない
 市民の文化芸術に関する理解度・認知度が低い

宇部市を文化的なまちだと思わない理由としては、「まちなみや景観、施設の外観などが、文化的な雰囲気を感じさせない」42.3%、「良質な文化芸術イベントの開催が少ない」35.8%、「名所・旧跡などの見所が少ない」28.3%の順となっている。

以下、「文化芸術に関する情報が得にくい」19.2%、「文化・教育施設等が充実していない」18.4%と続いている。

男女別では、「まちなみや景観、施設の外観などが文化的な雰囲気を感じさせない」について男性が多く、「文化・教育施設等が充実していない」が女性が多い。

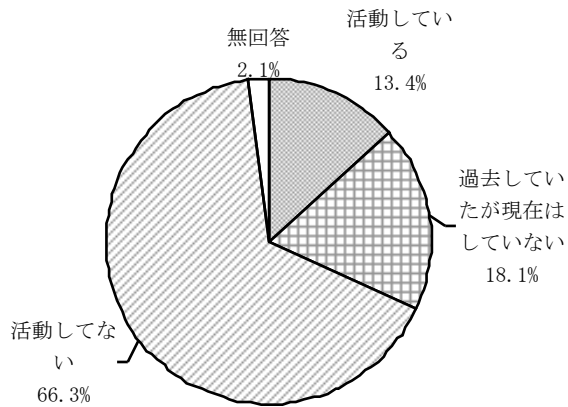
3 文化芸術活動へのかかわりについて



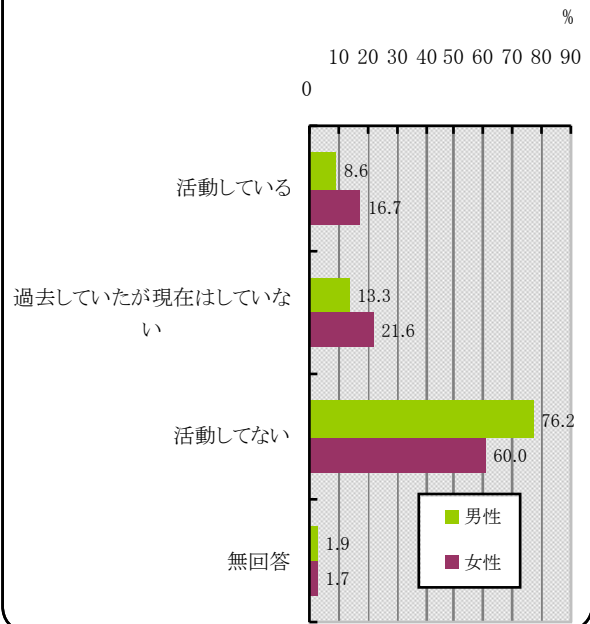
文化芸術活動について、「重要である」「どちらかといえば重要である」と思っている人が63.1%と半数を超え、「あまり重要でない」「重要でない」は32.9%であり、文化芸術活動の重要性を感じている市民が多いと言える。

男女別では、女性がやや多いが、年代別では、バラついており年代による傾向は一概に言えない。

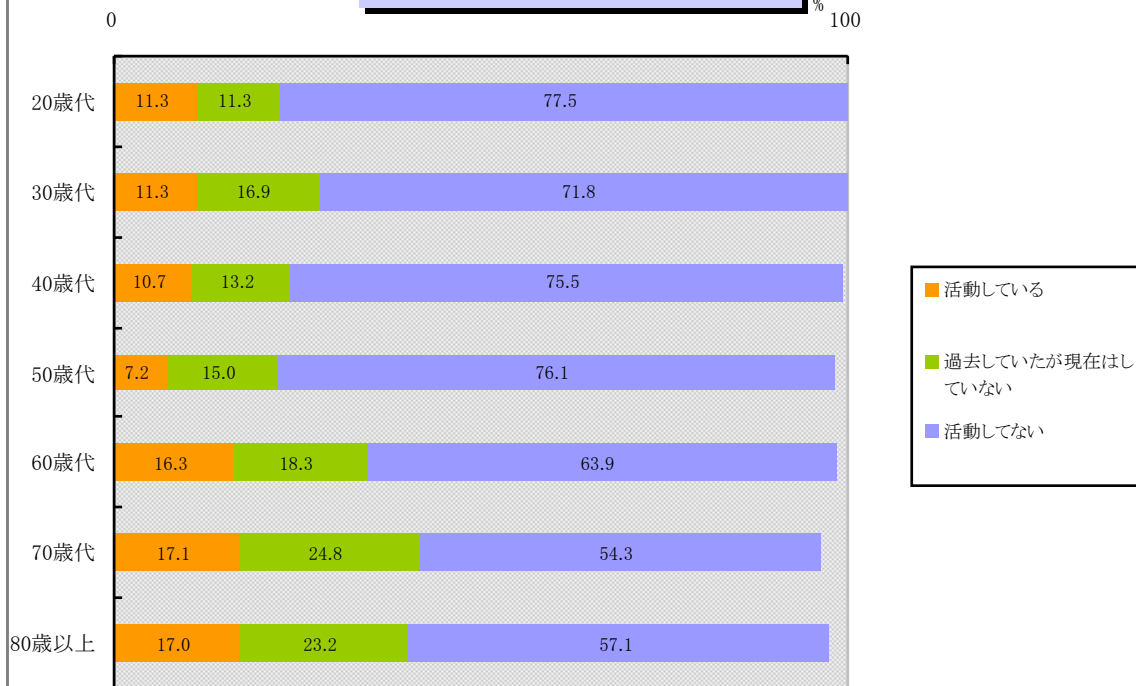
【問9】文化芸術活動をしているか(全体)



【問9】文化芸術活動をしているか



【問9】文化芸術活動をしているか(年代別)

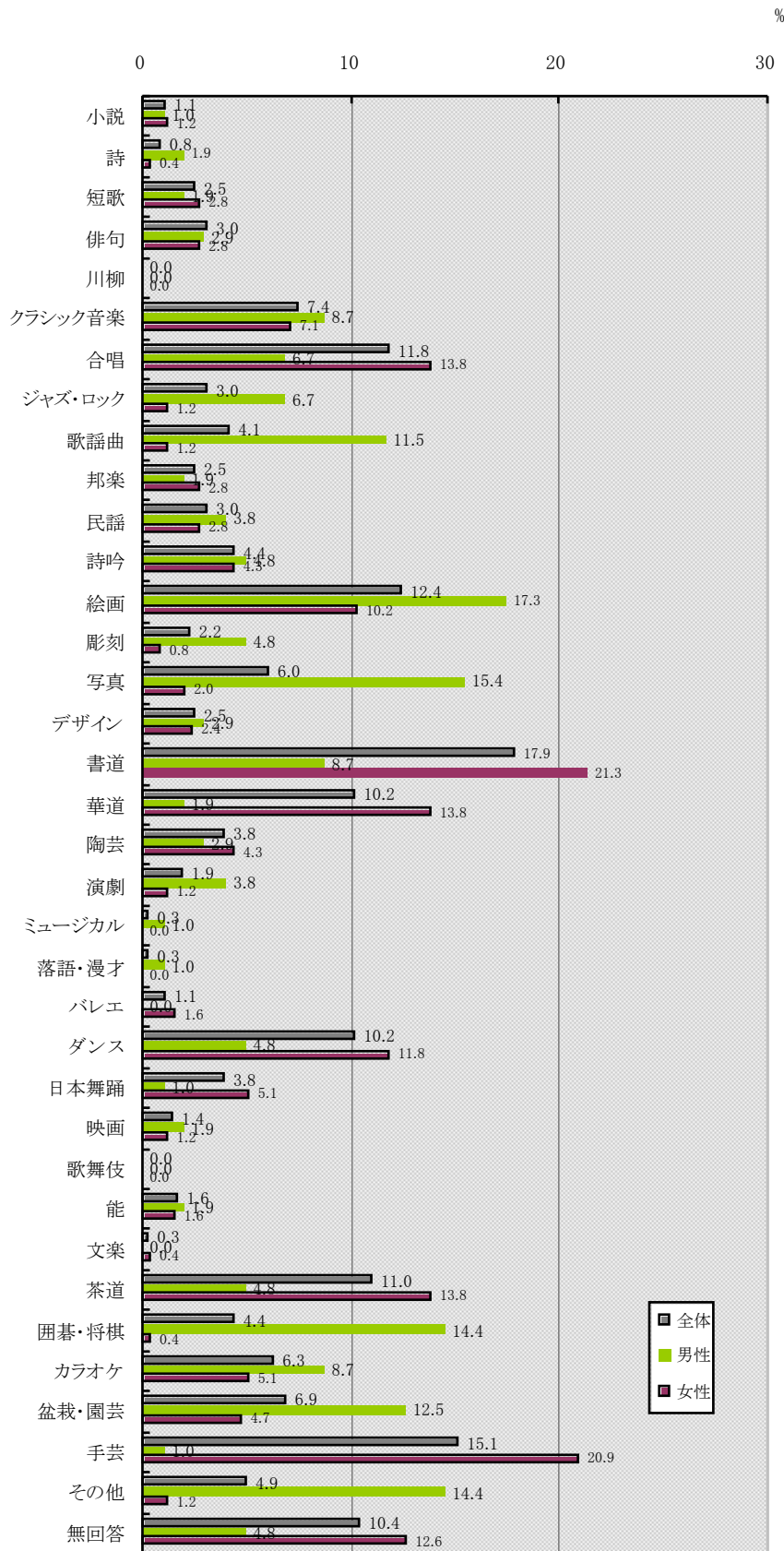


自身の文化芸術活動については、「活動していない」が66.3%と最も多く、「過去していたが、現在はしていない」が18.1%、現在「活動している」は13.4%にとどまっており、意識ほど実際の活動は活発ではないことがうかがえる。

男女別では、女性の、年代別では、高年齢層の活動が活発な傾向がある。

※問9で「活動している」または「過去はしていたが現在はしていない」と答えた方のみ

【問10】活動分野 ※複数回答



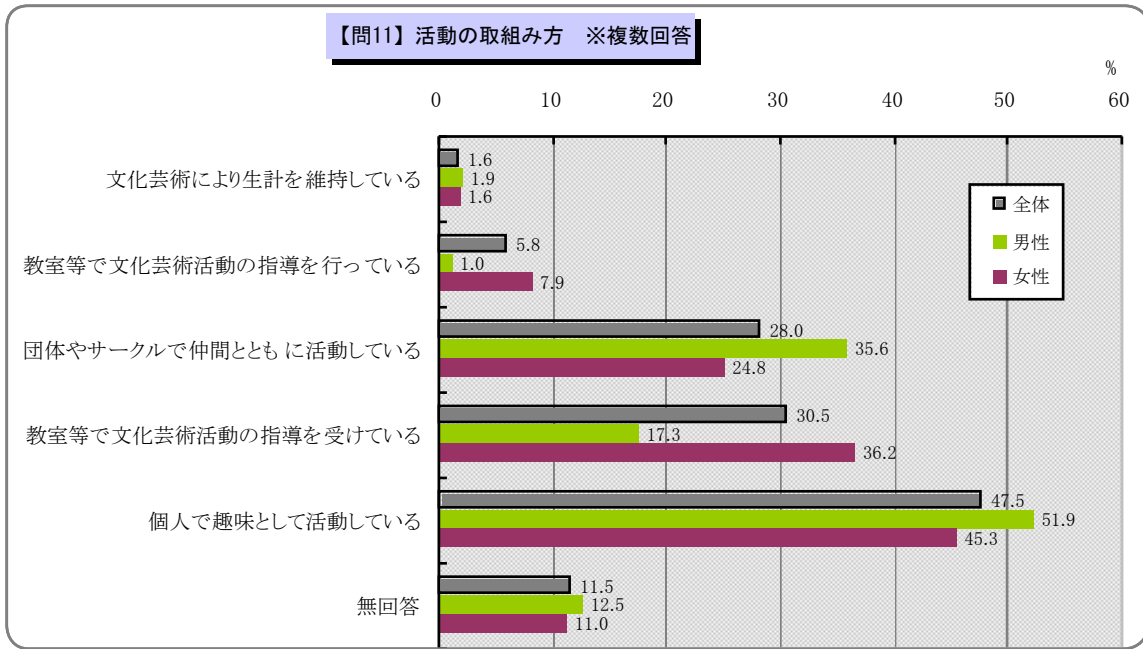
その他	押し花
	ちぎり絵
	絵手紙
	英会話
	マジック

文化芸術活動を現在しているまたは、過去していた分野については、「書道」が17.9%と最も多く、続いて「手芸」15.1%、「絵画」12.4%、「合唱」11.8%となっている。

以下、「茶道」11.0%、「華道」「ダンス」が10.2%と続いている。

男女別では、「書道」、「手芸」、「華道」、「茶道」、「合唱」等は女性が多く、「絵画」、「写真」、「歌謡曲」、「囲碁・将棋」等は男性が多い。

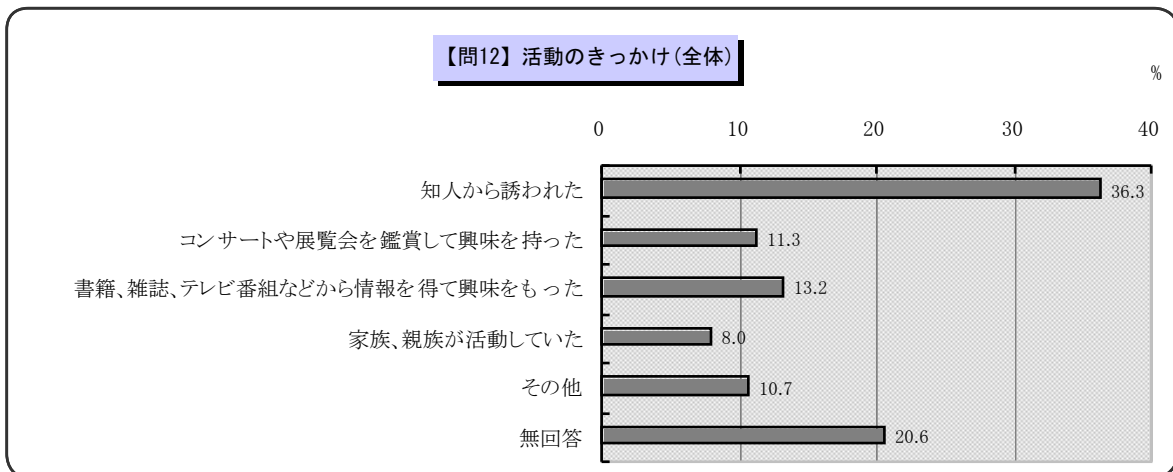
※問9で「活動している」または「過去はしていたが現在はしていない」と答えた方のみ



活動の取り組み方としては、「個人で趣味として活動している」が47.5%と最も多く、続いて「教室等で文化芸術活動の指導を受けている」30.5%、「団体やサークルの仲間とともに活動している」28.0%となっており、個人的な活動が中心となっている。

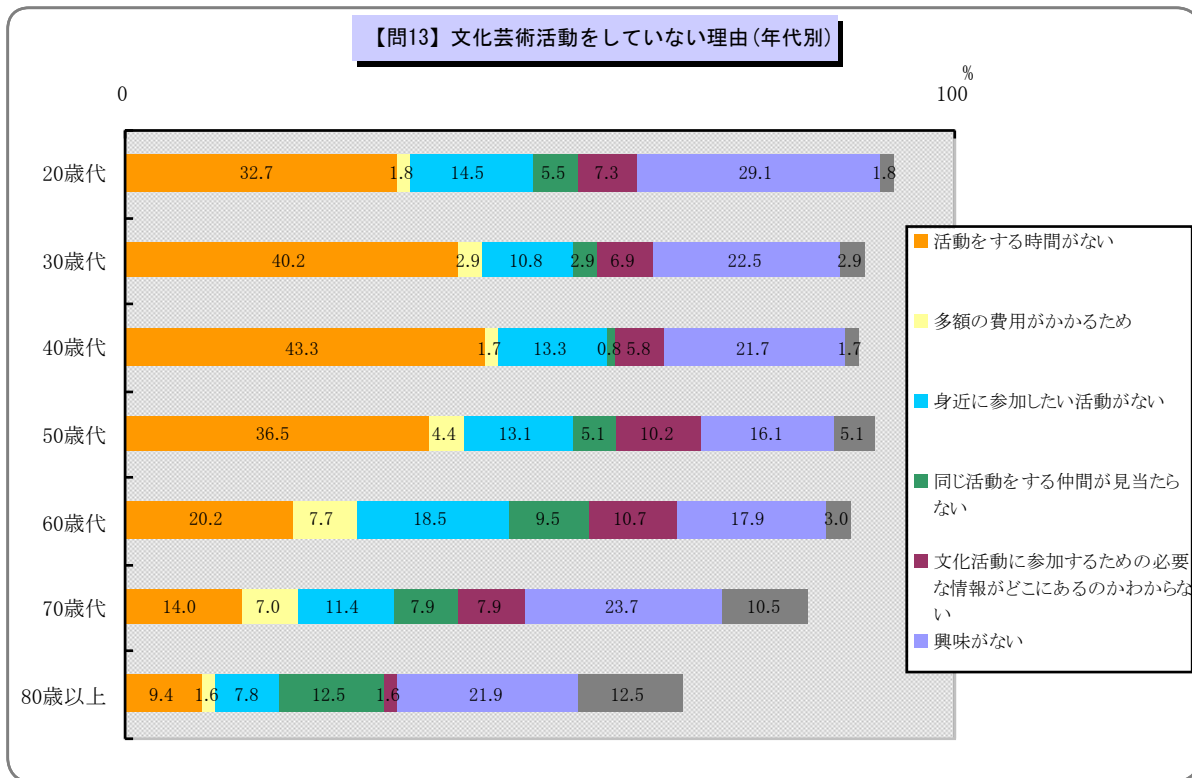
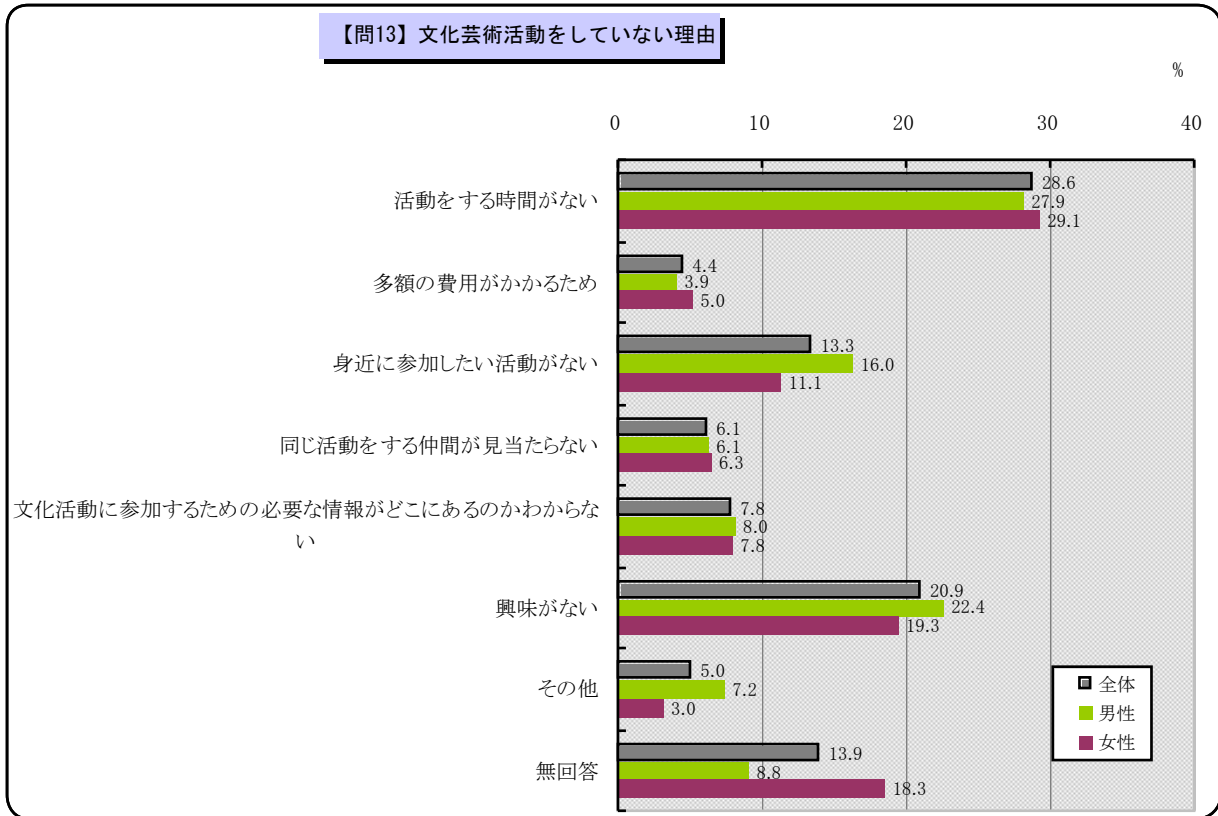
男女別では、「教室等で文化芸術活動の指導を受けている」「教室等で文化芸術活動の指導を行っている」で女性が多くなっている。

※問9で「活動している」または「過去はしていたが現在はしていない」と答えた方のみ



その 他	自発的に・好きだから 学生時代のクラブ活動 子どもの時からやっていた 友人・知人が活動していた
---------	--

活動のきっかけとしては、「知人から誘われた」が36.3%と最も多く、無回答が20.6%と多かったが、続いて「書籍、雑誌、テレビ番組などから情報を得て興味をもった」13.2%、「コンサートや展覧会を鑑賞して興味を持った」11.3%、「家族、親族が活動していた」8.0%となっている。



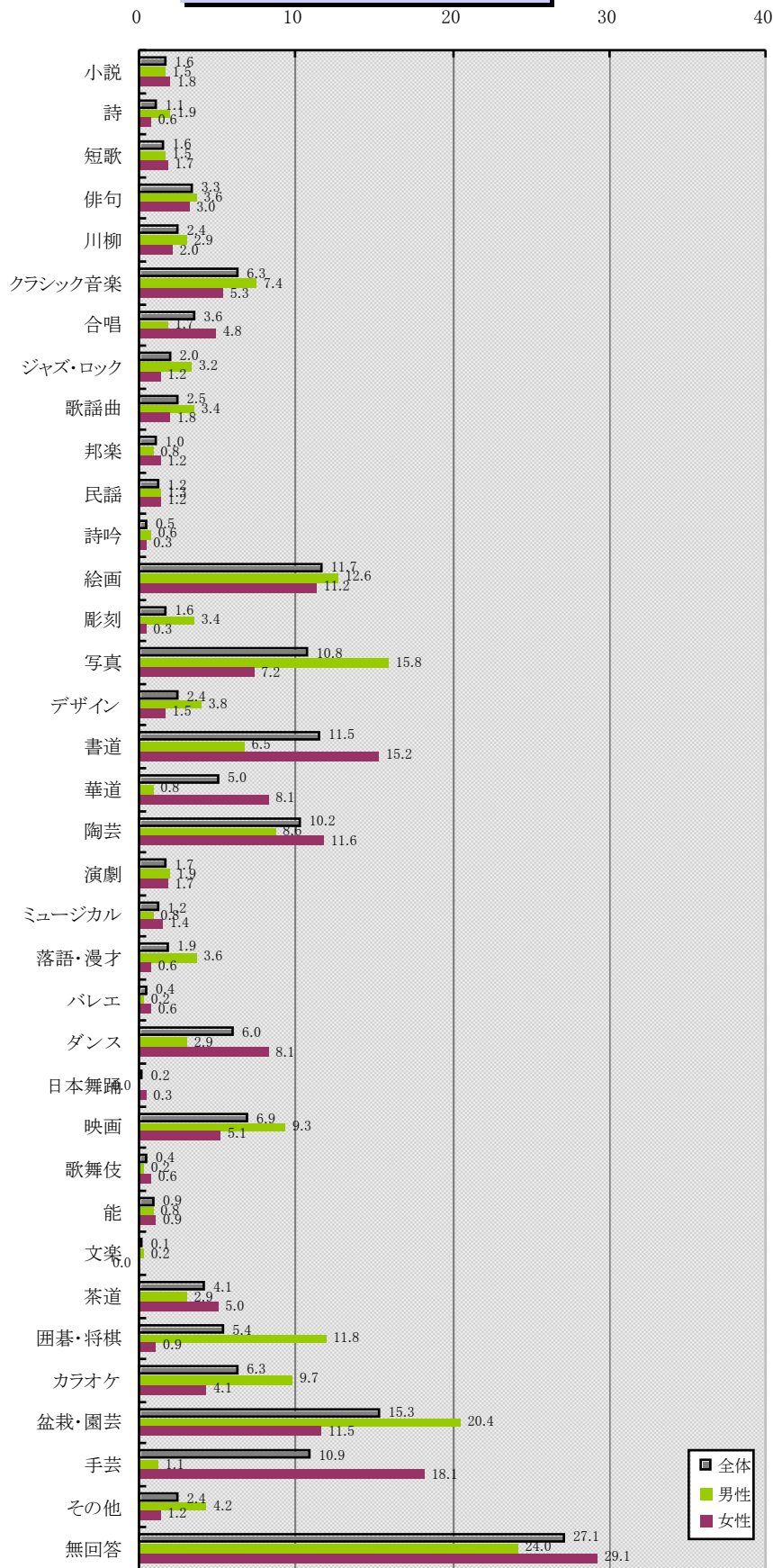
その他	健康上・体力的理由
	高齢のため
	活動する能力・才能がない
	日常において、文化活動 どころではない

活動していない理由としては、「活動する時間がない」28.6%が最も多く、続いて「興味がない」20.9%、「身近に参加したい活動がない」13.3%となっている。

以下、「文化活動に参加するための必要な情報がどこにあるのかわからない」7.8%、「同じ活動をする仲間が見当たらない」6.1%、「多額の費用がかかるため」4.4%となっている。

男女別では、女性は、「活動する時間がない」を理由にあげる割合が高く、男性は、「身近に参加したい活動がない」の割合が高い。年代別では、若年層ほど、「時間」を理由にあげる割合が高く、「費用」「仲間」をあげる傾向がある。

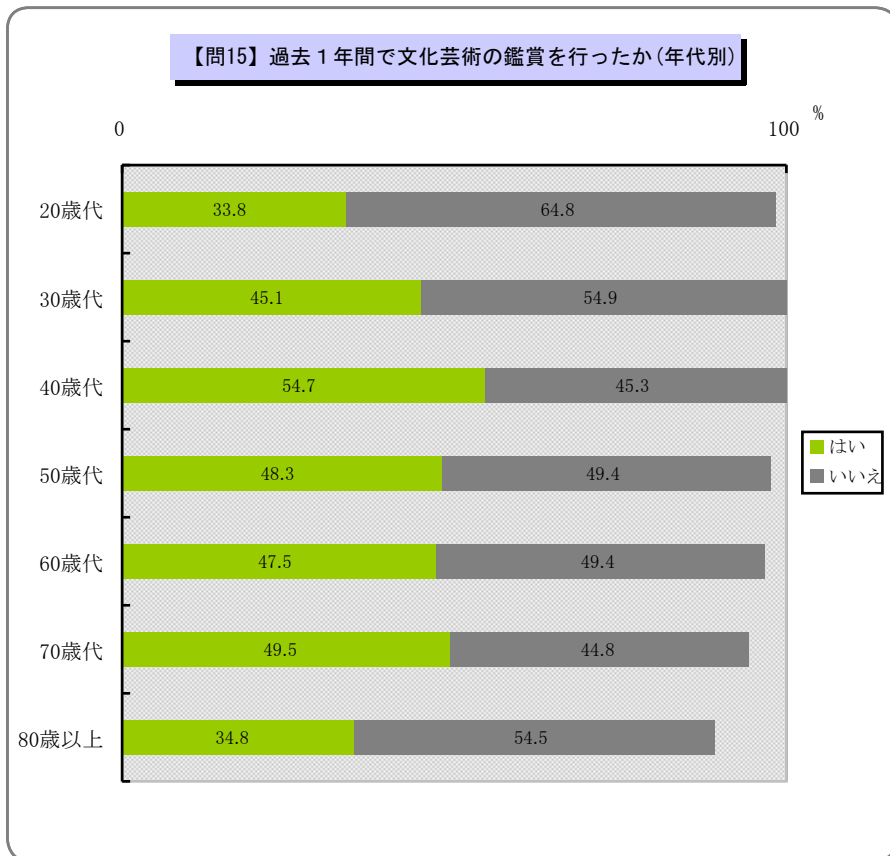
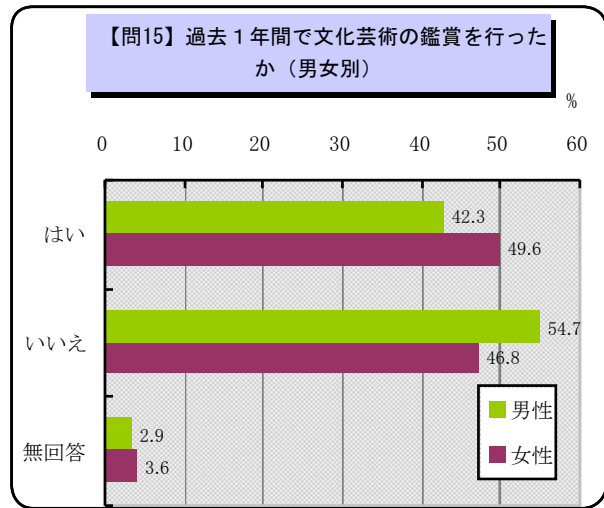
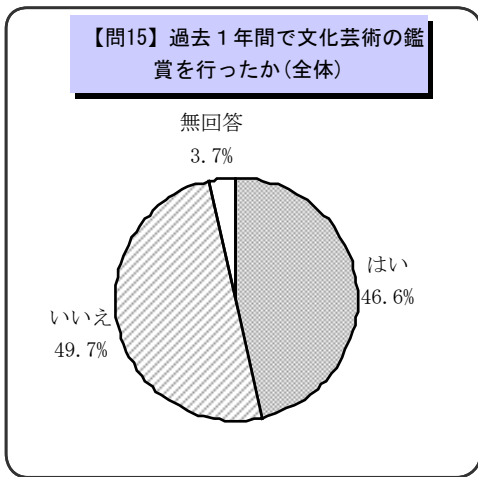
【問14】 今後活動したい分野 ※複数回答



その他
英会話
ちりめん細工
ガラス工芸
絵手紙
ヨガ
スポーツ

今後活動したいと思う分野は、「無回答」27.1%が最も多く、続いて「盆栽・園芸」15.3%が多かった。以下、「絵画」11.7%、「書道」11.5%、「手芸」10.9%、「写真」10.8%、「陶芸」10.2%となっている。その他、「映画」6.9%、「カラオケ」「クラシック音楽」が6.3%、「ダンス」6.0%、「囲碁・将棋」5.4%と続いており、活動を希望される分野は広範にわたっている。

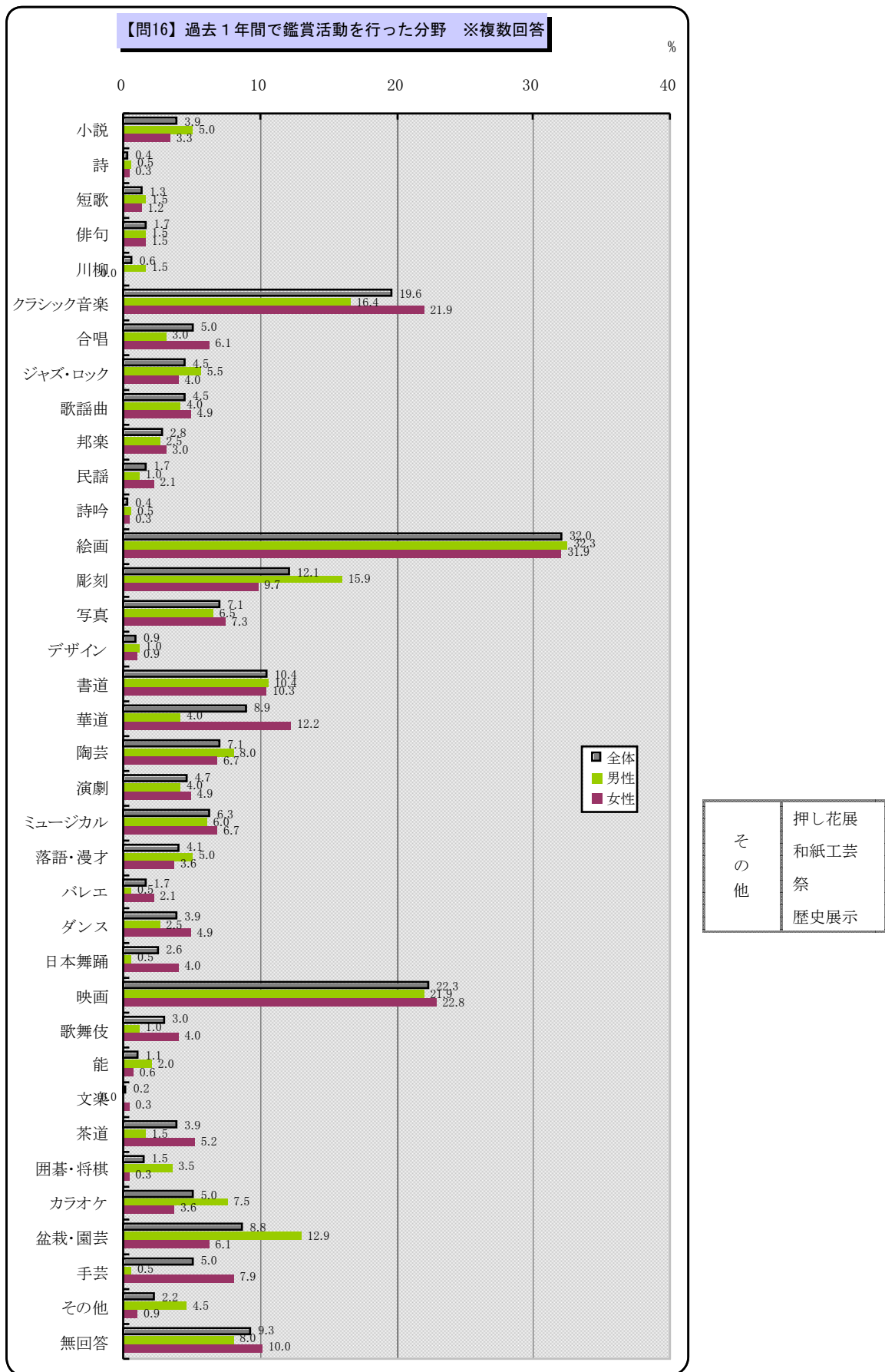
男女別では、「書道」「手芸」「陶芸」「ダンス」他では女性が多く、「盆栽・園芸」「写真」「囲碁・将棋」他では、男性が多かった。



過去1年間で文化芸術活動の鑑賞を行ったかどうかについては、「いいえ」が49.7%と約半数で、「はい」も46.6%でほぼ同じである。

男女別では、女性のほうが、「はい」の割合が高く、年代別では40歳代、続いて、70歳代が高いが、一般的な傾向はみられない。

※問15で「はい」と答えた方のみ

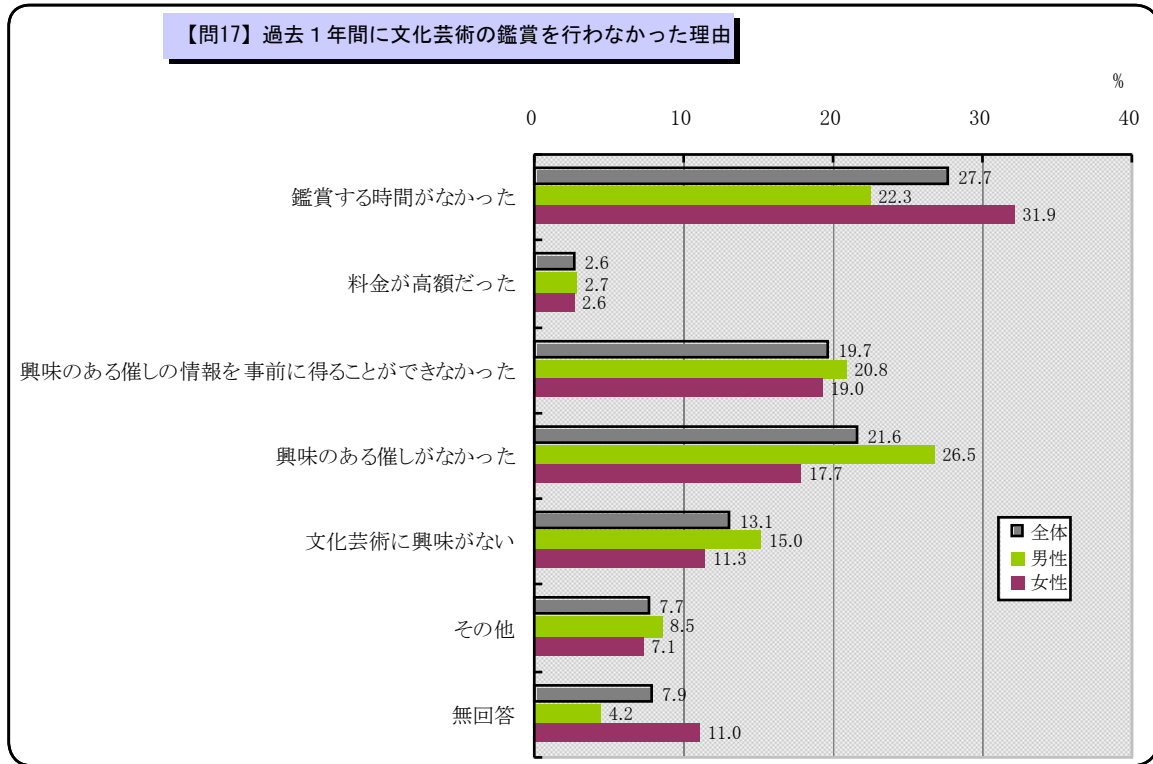


鑑賞した内容については、「絵画」32.0%が最も多く、続いて「映画」22.3%、「クラシック音楽」19.6%となっている。

以下、「彫刻」12.1%、「書道」10.4%、「華道」8.9%、「盆栽・園芸」8.8%、「写真」「陶芸」がともに7.1%の順となっており、鑑賞の分野も幅広いことがうかがえる。

男女別では、基本的に、女性の鑑賞回答の多いなか、「彫刻」「盆栽・園芸」について男性の回答が多い。

※問15で「はい」と答えた方のみ

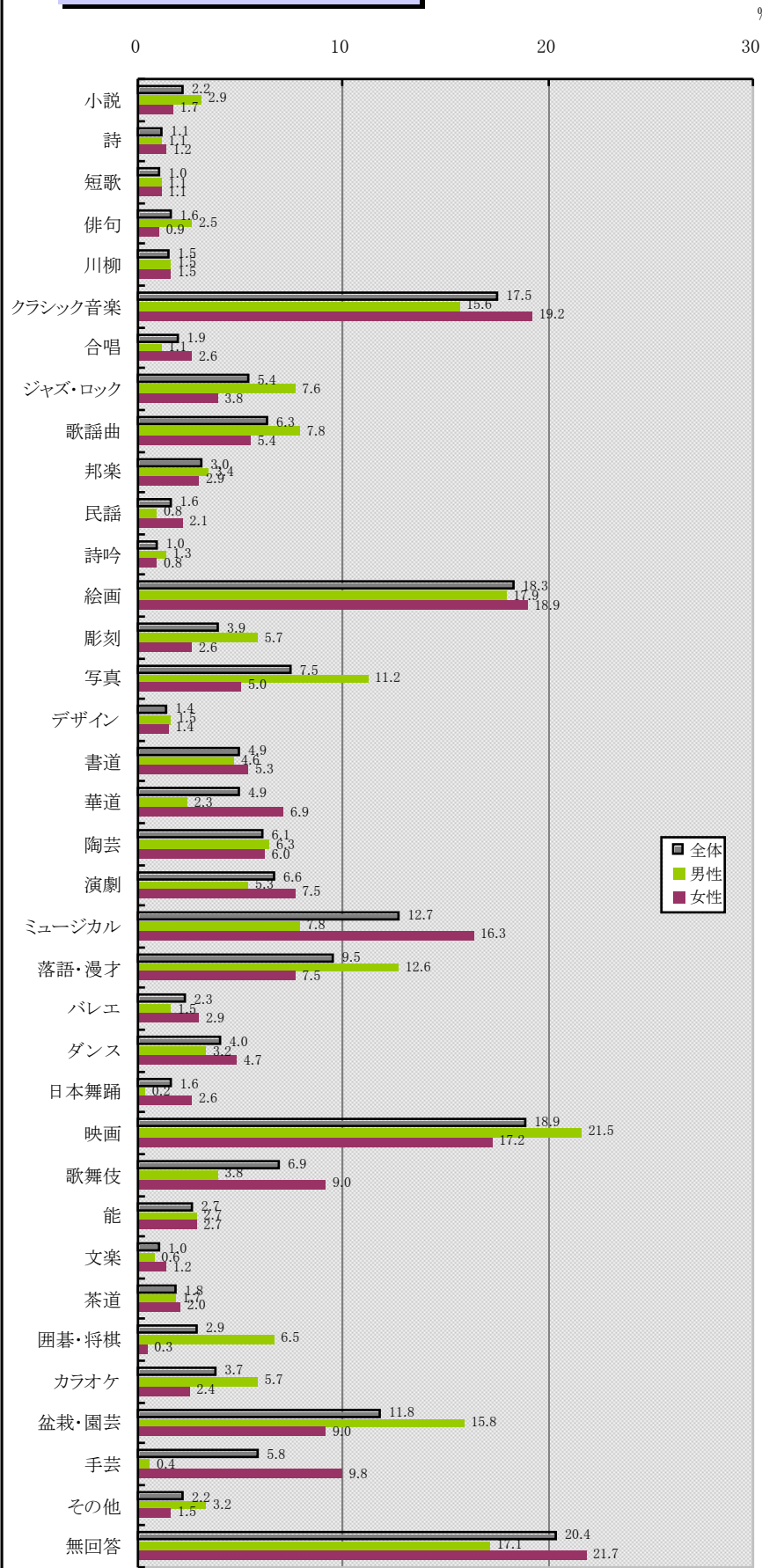


その他	健康上の理由
	高齢のため
	会場まで遠い
	駐車場が少ない

文化芸術の鑑賞を行わなかった理由については、「鑑賞する時間がなかった」27.7%が最も多く、以下、「興味のある催しかなかった」21.6%、「興味のある催しの情報を事前に得ることがなかった」19.7%、「文化芸術に興味がない」13.1%となっている。「料金が高額だった」は2.6%で理由としては少数となっている。

男女別では、女性が、「鑑賞する時間がなかった」とする割合が多いのに対して、男性は、「興味のある催しかなかった」、「興味のある催しの情報を事前に得ることがなかった」、「文化芸術に興味がない」の回答が多い。

【問18】 今後鑑賞したい分野 ※複数回答



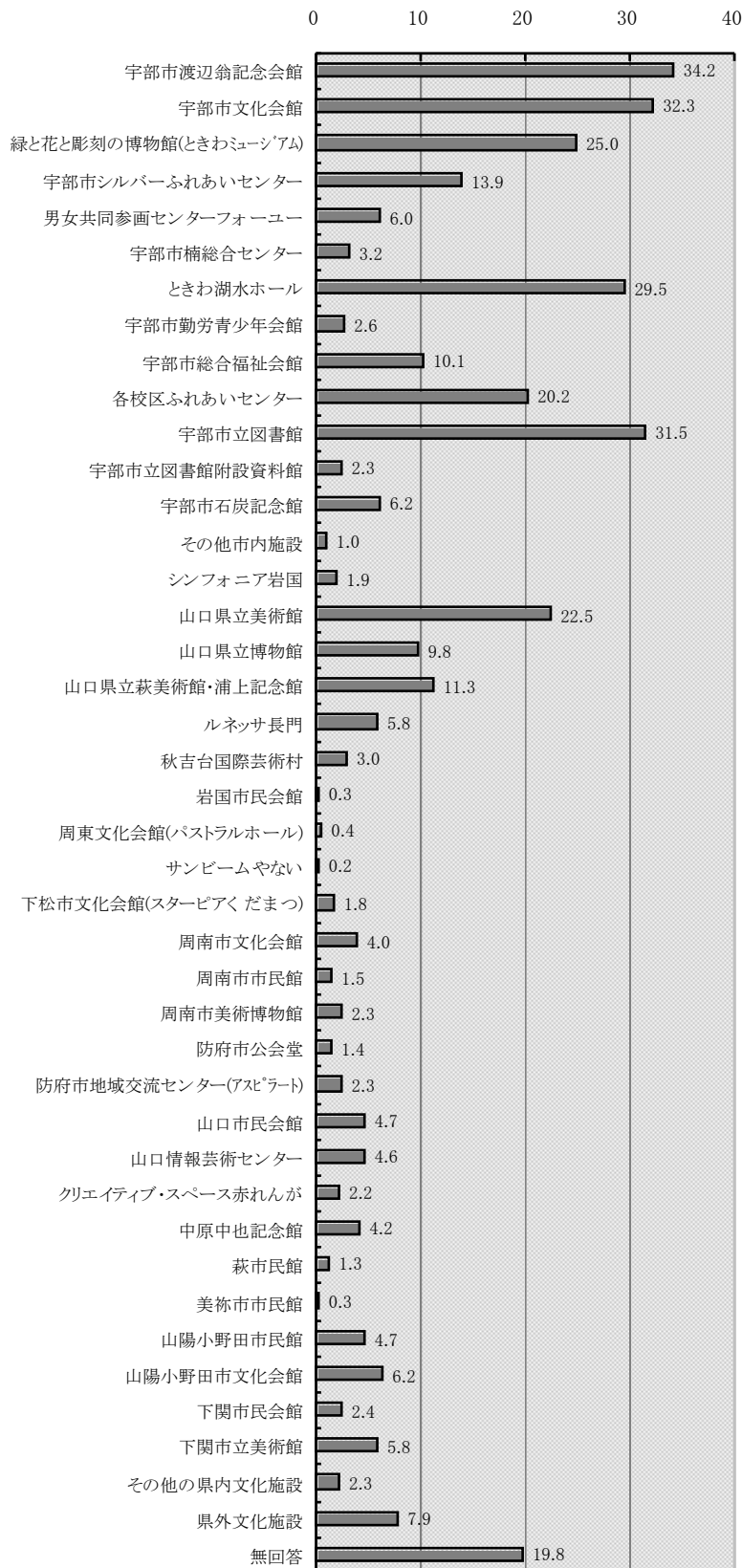
ガラス工芸
 芸能人のコンサート
 歴史展示
 科学展
 スポーツ

今後鑑賞したい分野は、「無回答」20.4%に続いて、「映画」18.9%、「絵画」18.3%、「クラシック音楽」17.5%となっている。以下、「ミュージカル」12.7%、「盆栽・園芸」11.8%、「落語・漫才」9.5%、「写真」7.5%、「歌舞伎」6.9%と続いている。

男女別では、「クラシック音楽」「ミュージカル」「歌舞伎」他は女性が多く、「映画」「盆栽・園芸」「落語・漫才」では男性が多い。 -15-

【問19】過去1年で利用した施設(全体)

※複数回答 %



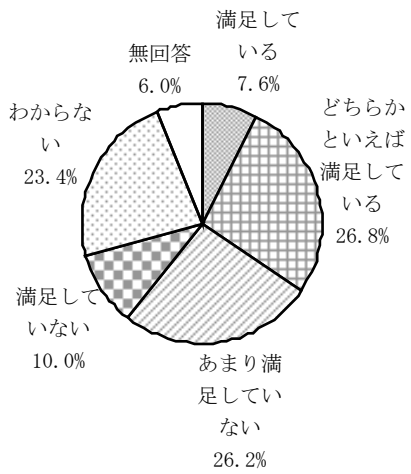
その他の市内施設	画廊・ギャラリー喫茶 アクトビレッジ小野 楠こもれびの郷
その他の県内施設	香月泰男美術館 金子みずゞ記念館 山口県立図書館
県外施設	九州国立博物館 福岡市美術館 北九州市立美術館 福岡市博物館 広島県立美術館 国立西洋美術館 国立新美術館

市内で利用した施設については、「宇部市渡辺翁記念会館」34.2%、「宇部市文化会館」32.3%と文化施設が大きく占め、続いて「宇部市立図書館」31.5%、「ときわ湖水ホール」29.5%、「緑と花と彫刻の博物館(ときわミュージアム)」25.0%となっている。

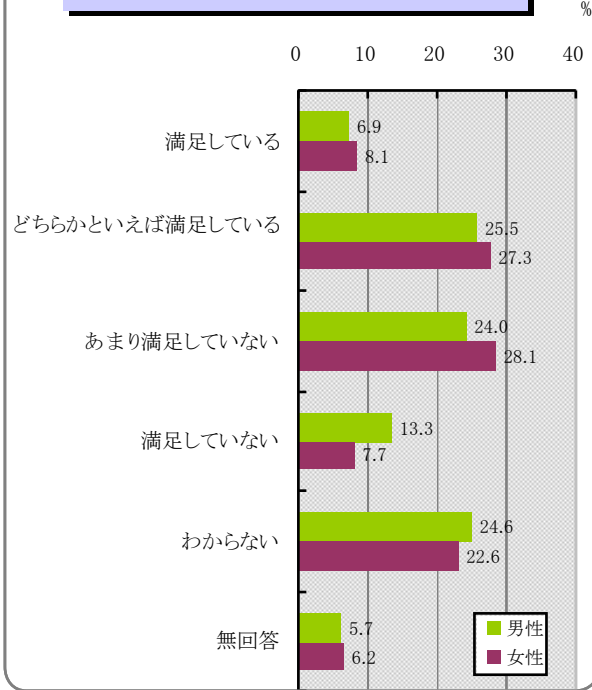
その他の市内施設については、「各校区ふれあいセンター」20.2%、「宇部市シルバーふれあいセンター」13.9%、「宇部市総合福祉会館」10.1%の順となっており、幅広く施設は活用されている。

山口県内で利用した施設については、「山口県立美術館」22.5%と最も多く、続いて「山口県立萩美術館・浦上記念館」11.3%、「山口県立博物館」9.8%となっている。その他については、広く分散している。

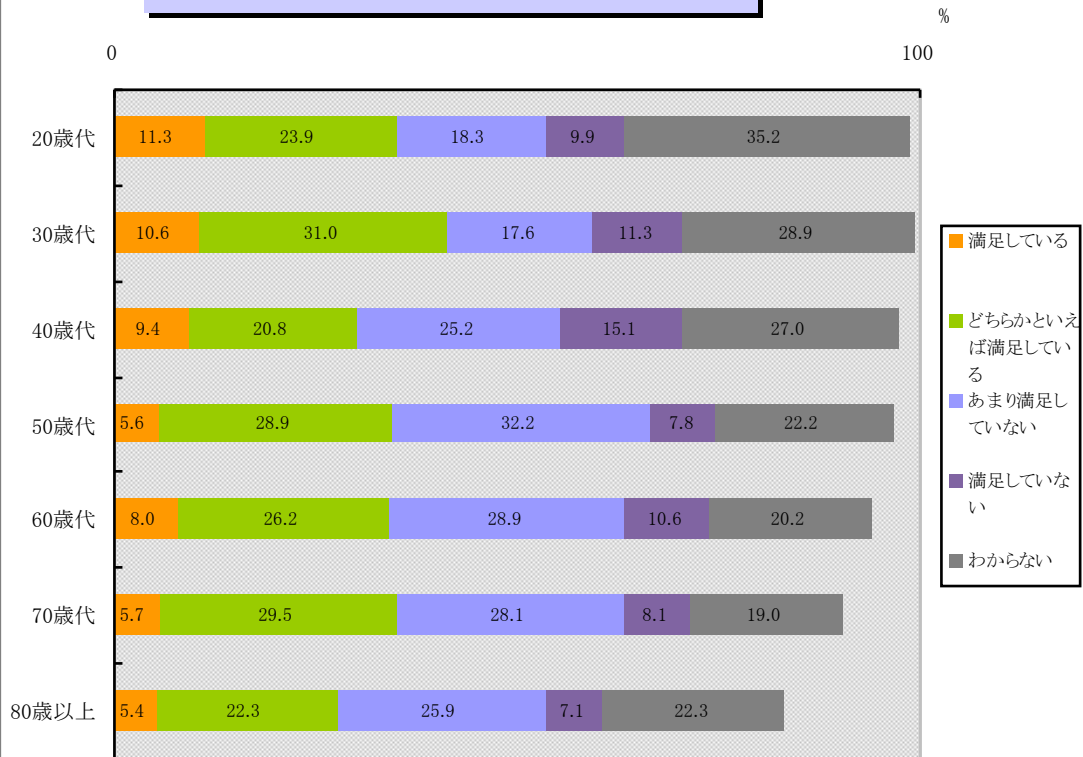
【問20】宇部市の文化施設の設置状況に対する満足度(全体)



【問20】宇部市の文化施設の設置状況に対する満足度(男女別)



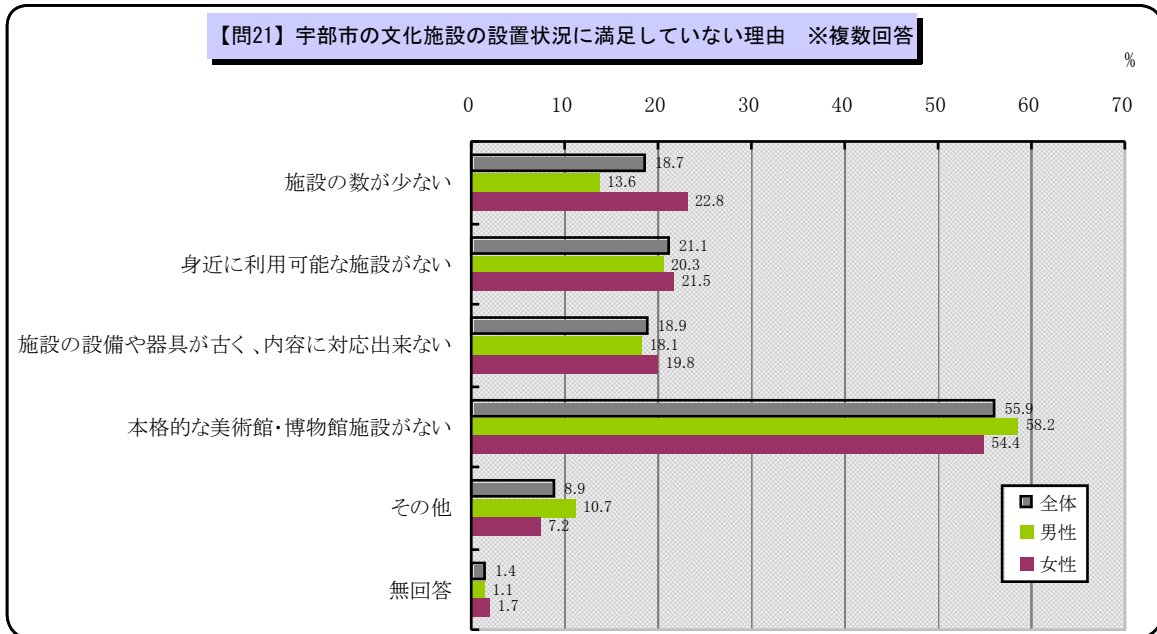
【問20】宇部市の文化施設の設置状況に対する満足度(年代別)



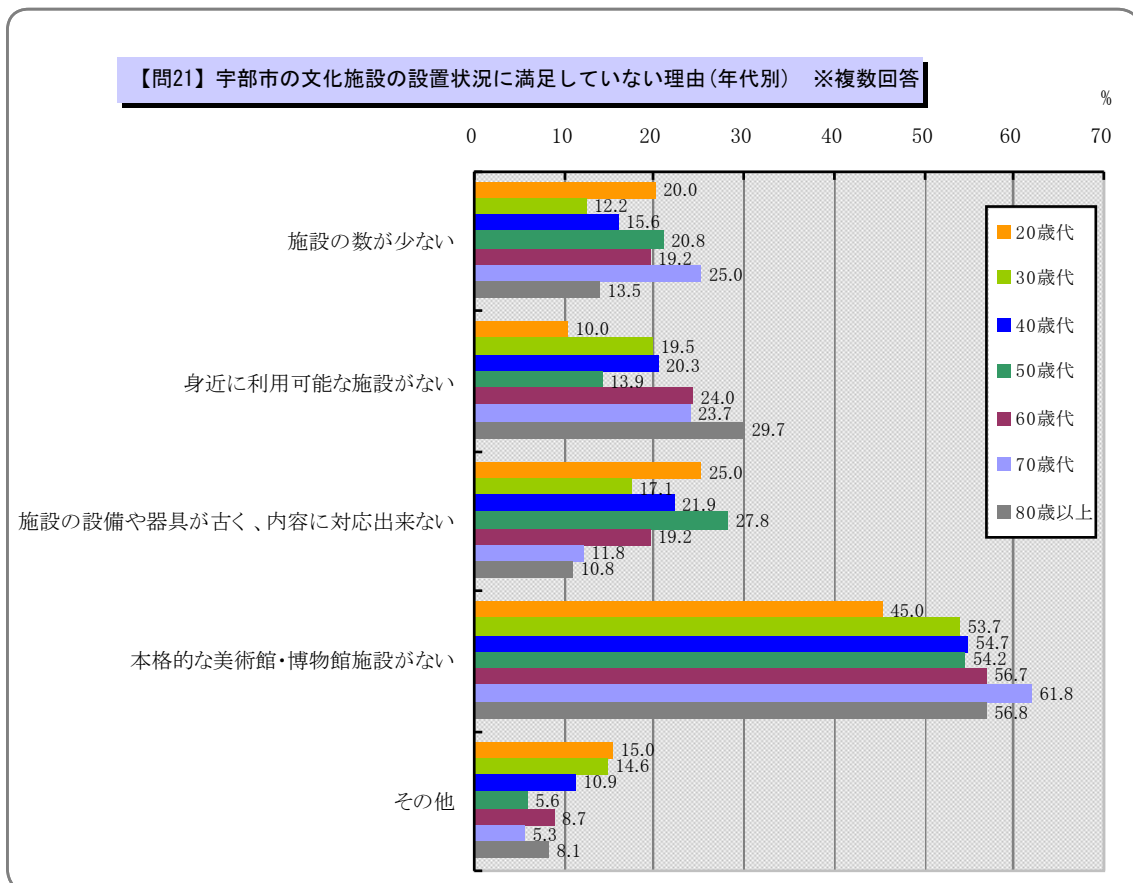
宇部市の文化施設の設置状況については、「満足していない」「あまり満足していない」が36.2%となっており、「満足している」「どちらかといえば満足している」34.4%を上回っている。「わからない」が23.4%と大きく占めている。

男女別では、女性がわずかに満足度が高い。年代別では、「満足している」については、若年層が高いが、「どちらかといえば満足している」まで含めると、はっきりとした傾向はない、と言える。

※問20で「あまり満足していない」「満足していない」と答えた方のみ



その他	係員の対応・印象が悪い
	大きい施設、充実したがない・施設が小さい
	美術館がない
	児童館のような子ども連れで楽しめる施設が少ない

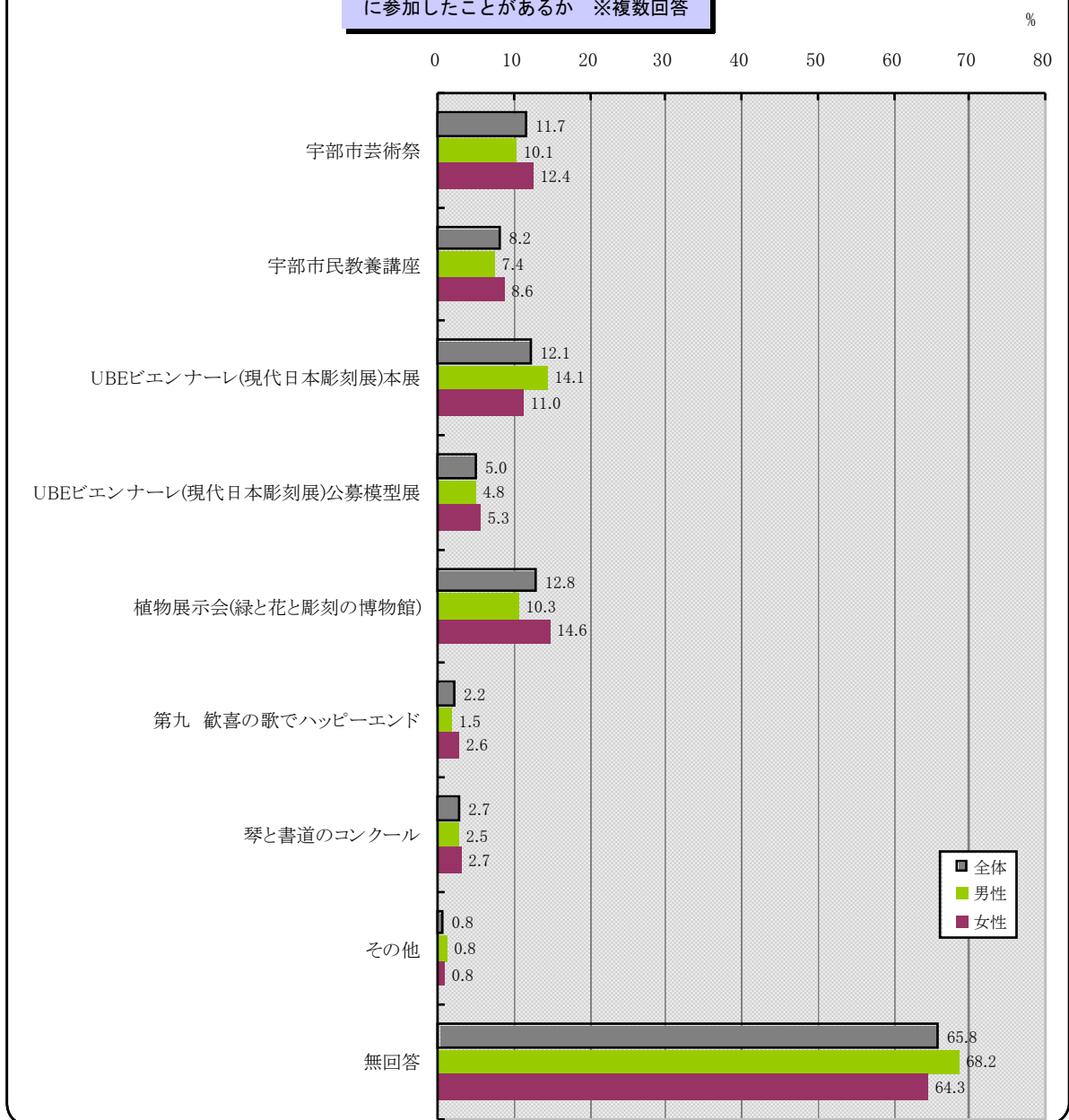


文化施設の設置状況に満足していない理由としては、「本格的な美術館・博物館施設がない」が55.9%と最も多く、本格的な美術館や博物館を望む声が多いと考えられる。

以下「身近に利用可能な施設がない」21.1%、「施設の整備や器具が古く、内容に対応出来ない」18.9%、「施設の数が少ない」18.7%とほぼ同数で続いている。

男女別では、男性は、「本格的な美術館・博物館施設がない」の割合が高く、女性は「施設の数が少ない」の割合が高い。年代別では、「本格的な美術館・博物館施設がない」、「身近に利用可能な施設がない」について、高年齢層ほど回答が多い。

【問22】 過去2年間に宇部市主催文化行事
に参加したことがあるか ※複数回答

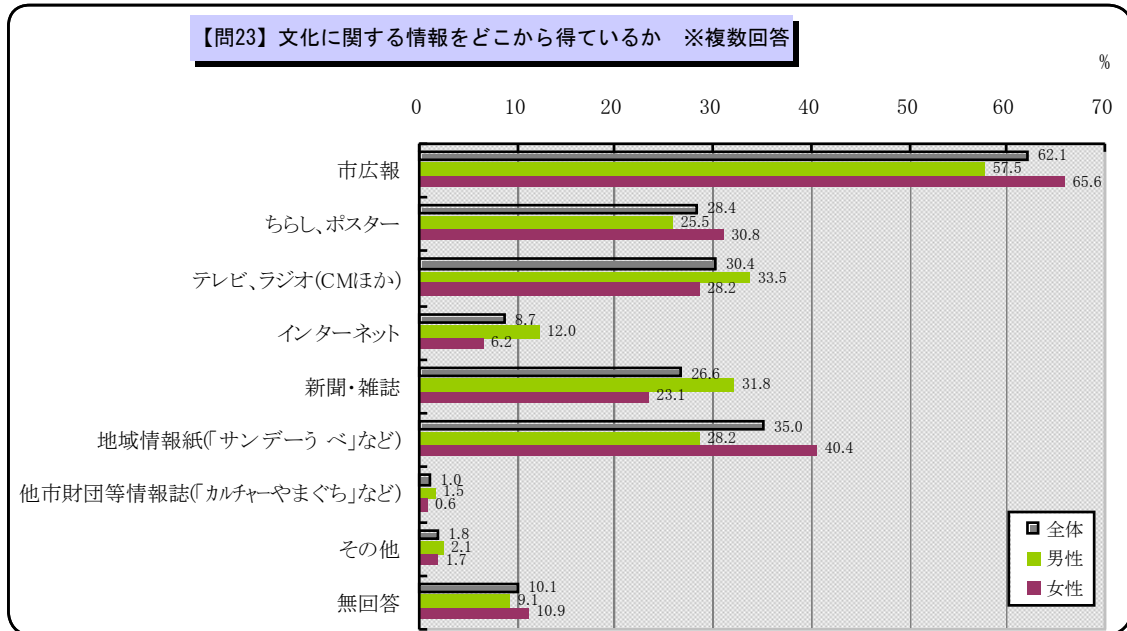


その他	宇部まつり 新川まつり
-----	----------------

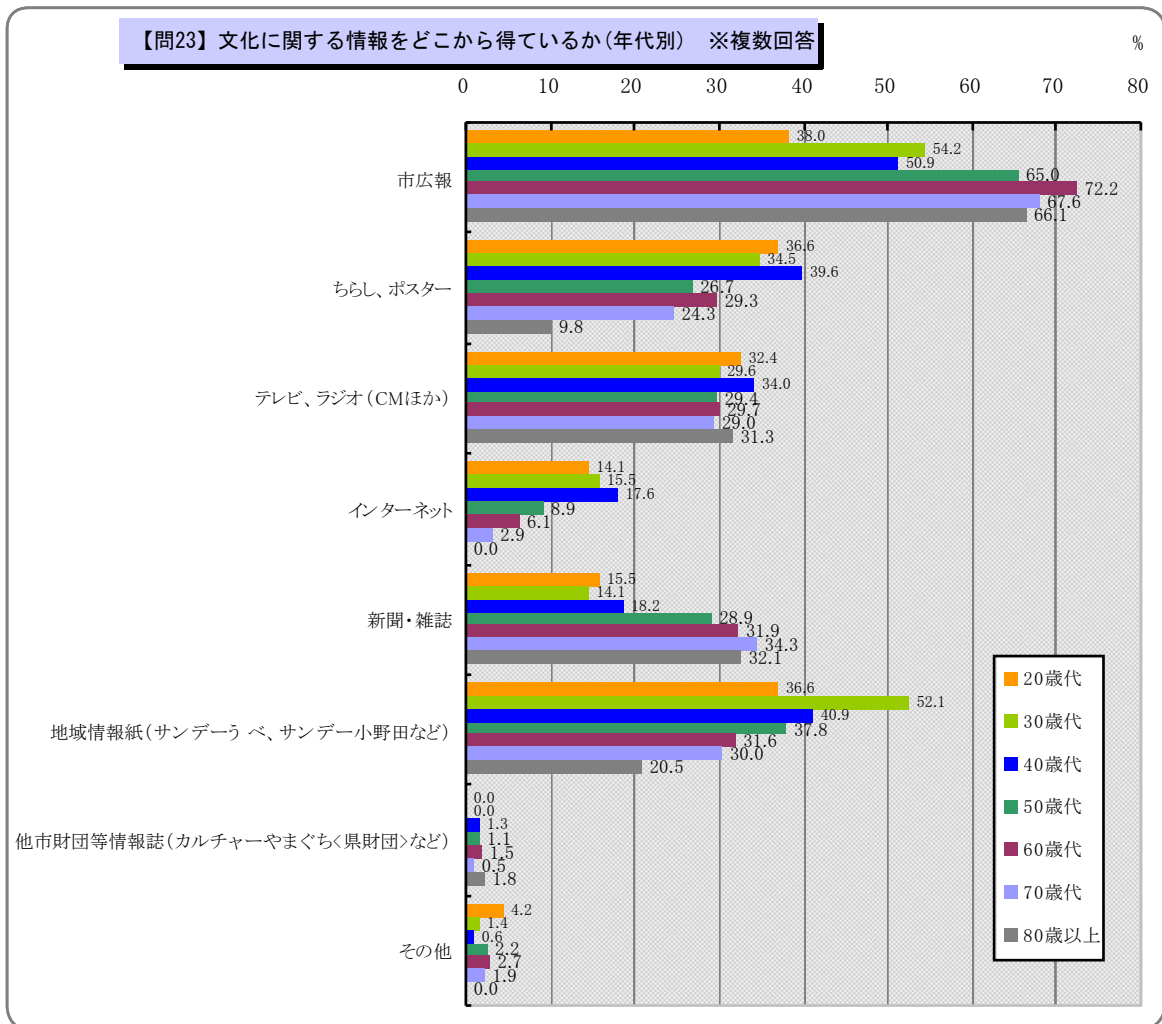
宇部市主催文化行事に参加したことがあるかどうかについては、「無回答」65.8%に続いて、「植物展示会（緑と花と彫刻の博物館）」12.8%、「UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）本展」12.1%、「宇部市芸術祭」11.7%、「宇部市民教養講座」8.2%となっている。

男女別では、「宇部市芸術祭」、「宇部市民教養講座」では女性の割合が、「UBEビエンナーレ本展」では、男性の割合が、やや高い。

4 文化に関する情報取得状況について



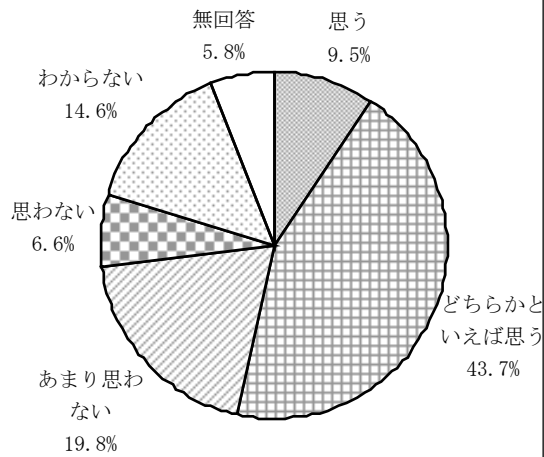
その他	友人・知人・家族・ロコミ 教室の先生 県広報 宇部線等の構内広告、車内広告
-----	--



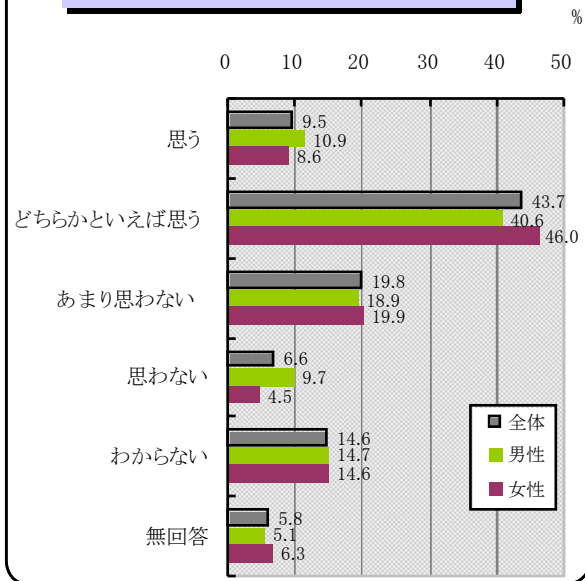
文化に関する情報元については、「市広報」62.1%が最も多く、続いて「地域情報紙(サンデーうべなど)」35.0%、「テレビ、ラジオ(CMほか)」30.4%、「ちらし、ポスター」28.4%、「新聞、雑誌」26.6%、となっており、様々な媒体により情報を得ていると言えるが、「インターネット」は8.7%と少数であった。

男女別では、女性のほうが、市広報、地域情報紙、ちらし、ポスターの割合が高く、男性が、テレビ・ラジオ、新聞・雑誌、インターネットによる割合が高い。年代別では、市広報、新聞・雑誌については、高齢者層が、インターネットについては、低年齢層が高い傾向がある。

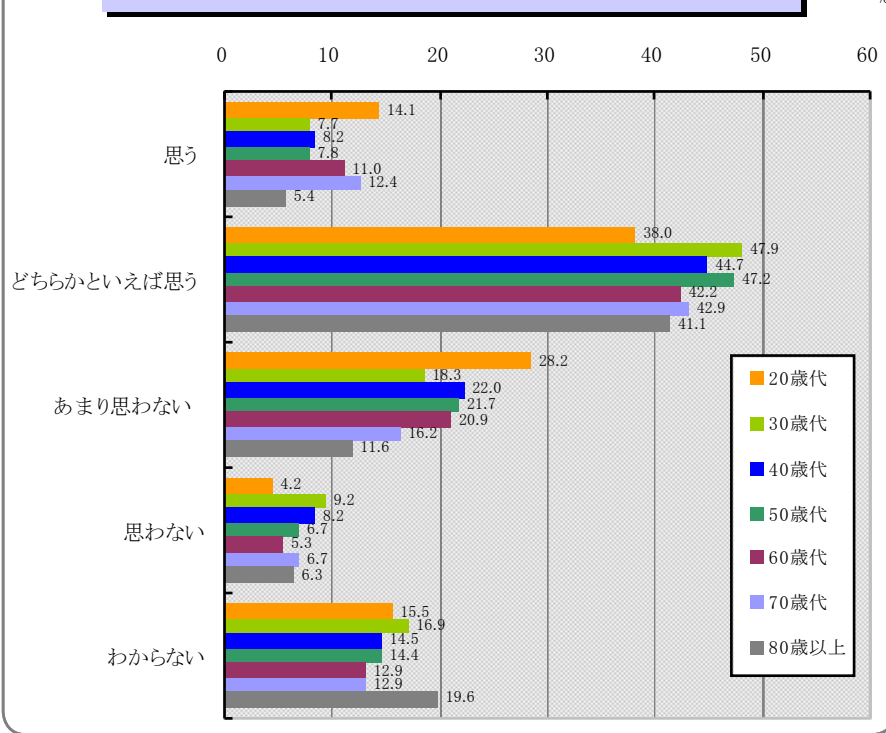
【問24】文化に関する情報が得られる状態にあるか(全体)



【問24】文化に関する情報が得られる状態にあるか



【問24】文化に関する情報が得られる状態にあるか(年代別) ※複数回答

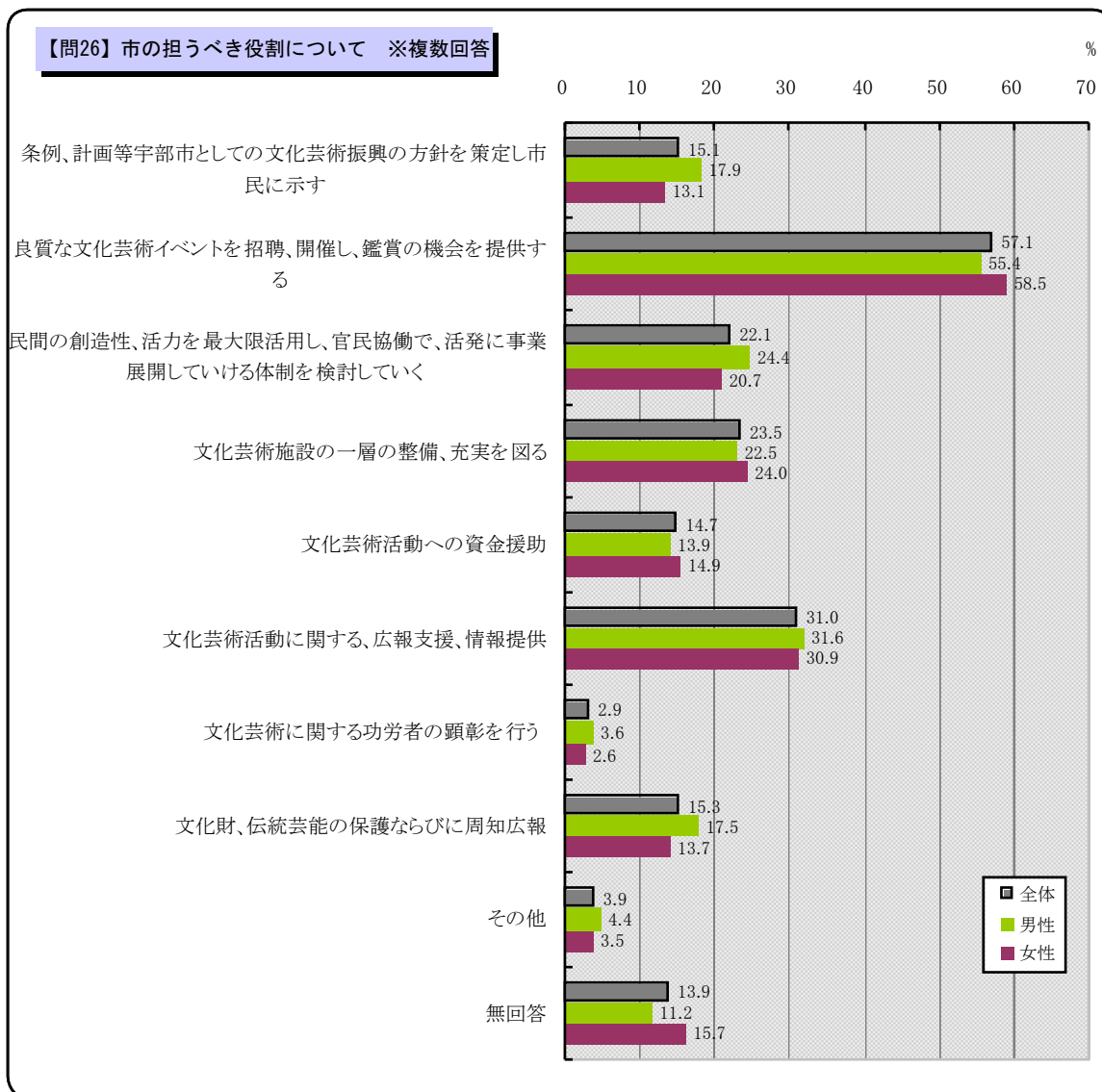


その他	内容
	市の文化に対する意識が感じられない
	興味がない
	もう少し住民に情報が浸透する工夫がほしい
	市広報にもっと分かりやすく載せてほしい
	市広報がわかりづらい
	仕事・子育てほか生活上時間がない、それどころではない
	情報が少ない
	文化情報発信の場が少ない

文化に関する情報が得られる状態にあるかについては、「思う」「どちらかといえば思う」が53.2%と半数を超え、「あまり思わない」「思わない」が26.4%、「分からない」が14.6%となっている。

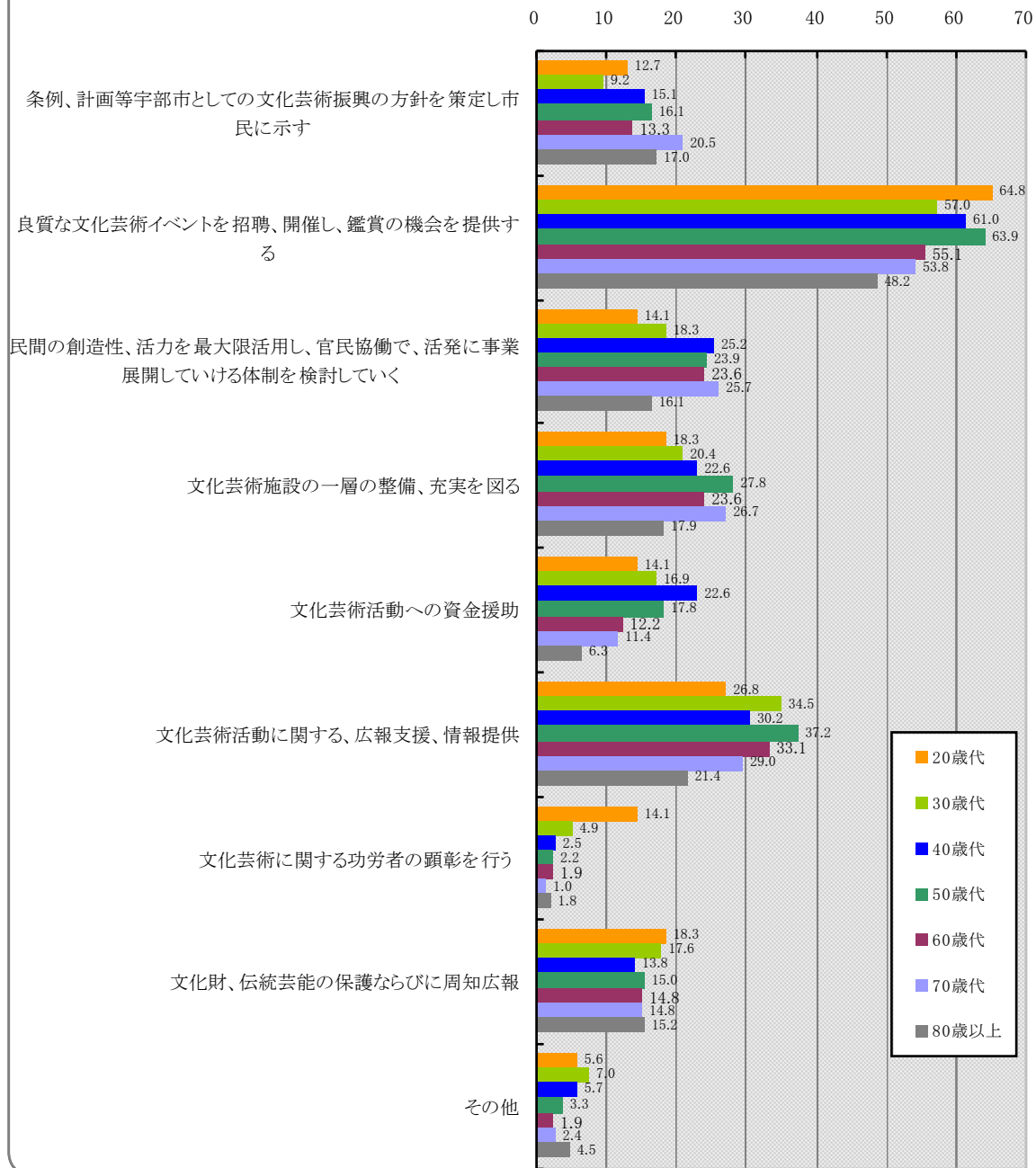
男女別では、「思う」「どちらかといえば思う」の割合が、女性のほうがやや高く、年代別では、顕著な傾向はみられない。

5 文化によるまちづくりに向けた今後の取り組みについて



【問26】市の担うべき役割について(年代別) ※複数回答

%

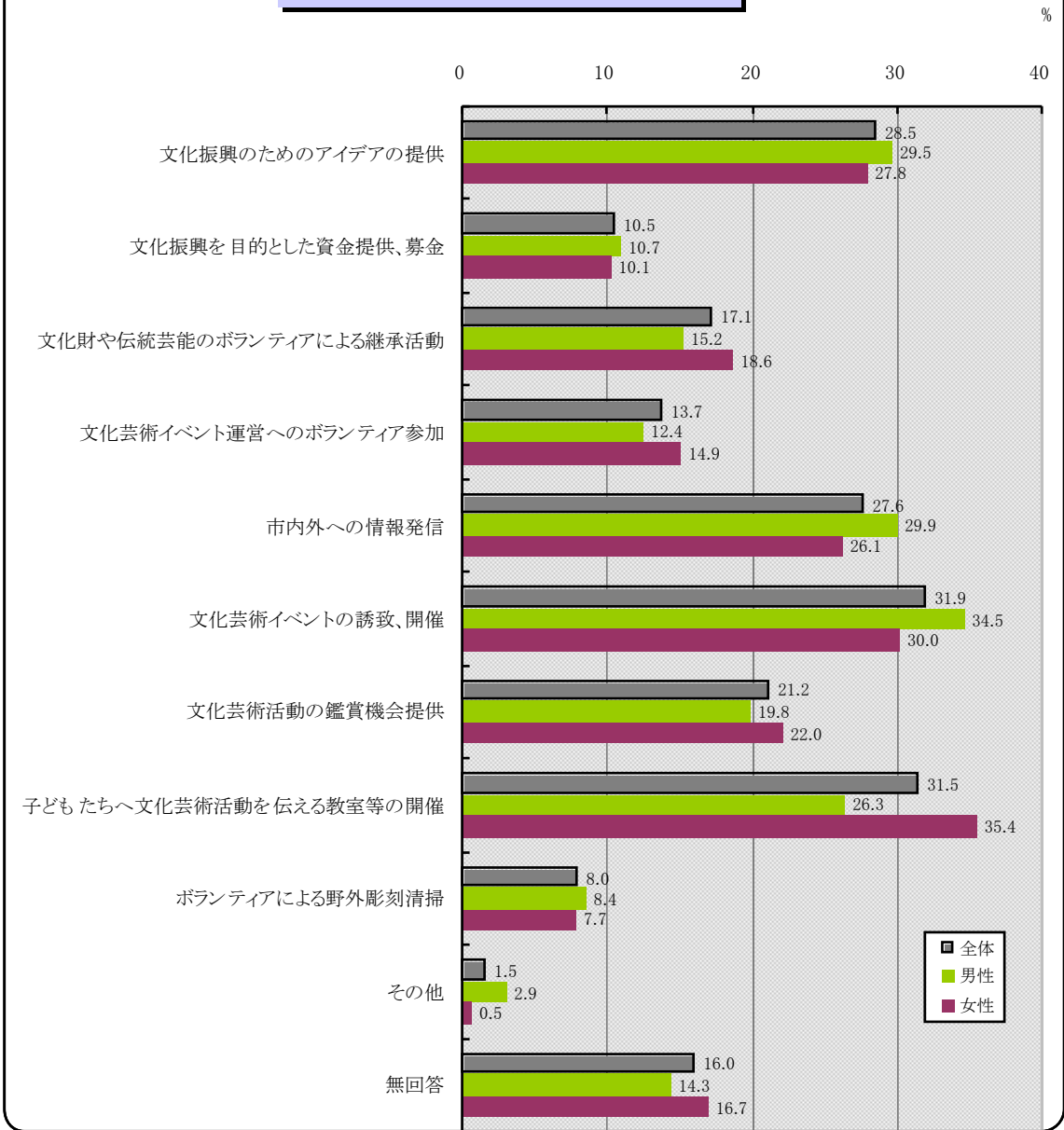


その他	子どもに「文化」のもつ重要性を教え込み文化に関心を持たせその心を持続させる
	市民へ積極的な働き掛けをする。
	役所に任せるのではなく市民が考え、話し合い、それを役所が実現するような市行政
	公共交通利便性向上
	施設の駐車場の確保
	常盤公園をもっと活用する。
文化には税金を使わないでいい	

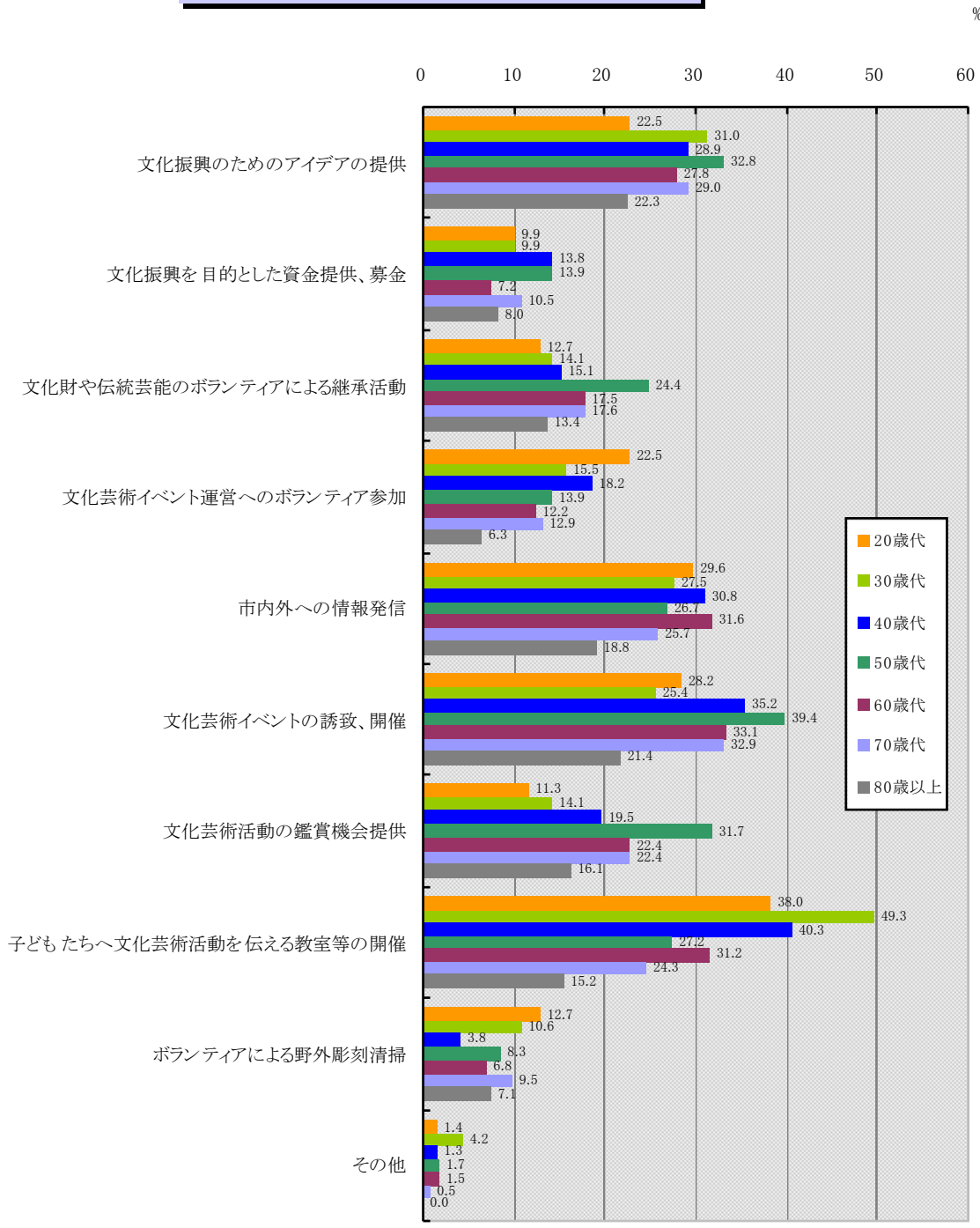
市の担うべき役割については、「良質な文化芸術イベントを招聘、開催し、鑑賞の機会を提供する」57.1%、続いて「文化芸術活動に関する、広報支援、情報提供」31.0%、「文化芸術施設の一層の整備、充実を図る」23.5%、「民間の創造性、活力を最大限活用し、官民協働で、活発に事業展開していける体制を検討」22.1%となっており、鑑賞機会と情報提供の充実を望む声が多い。

男女別では、「良質な文化芸術イベントを招聘、開催し、鑑賞の機会を提供する」について女性が、「条例・計画等宇部市としての文化芸術の方針を策定し市民に示す」、「官民協働で、活発に事業展開していける体制を検討」について男性がやや多い。年代別では「良質な文化芸術イベントを招聘、開催し、鑑賞の機会を提供する」については、若年層が、「条例・計画等宇部市としての文化芸術の方針を策定し市民に示す」については、高齢者層が多い傾向がある。

【問27】 市民の担うべき役割について ※複数回答



【問27】市民の担うべき役割について（年代別） ※複数回答



その他 文化芸術イベントにとりあえず参加してみる
ボランティアとしての活動

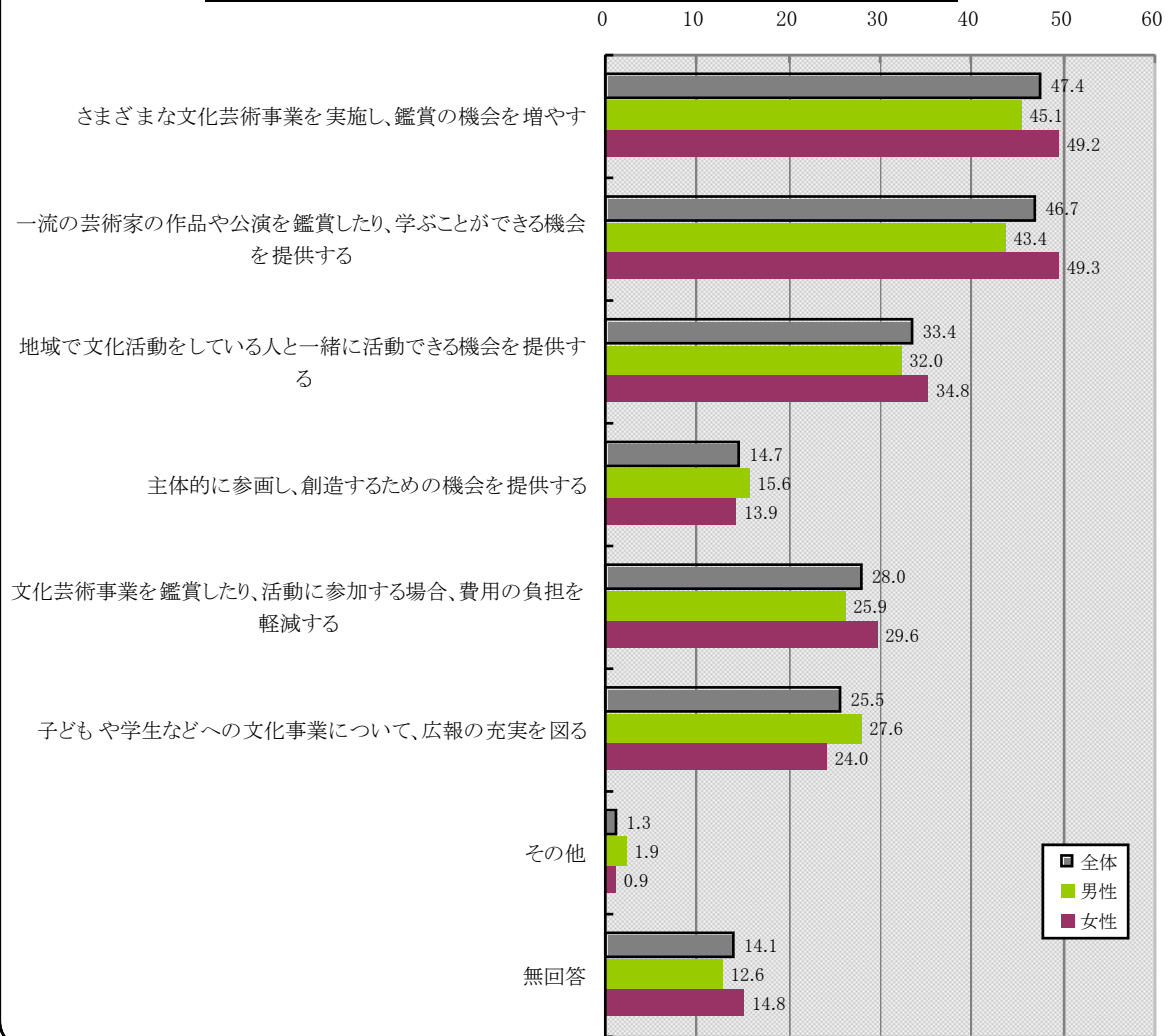
市民の担うべき役割については、「文化芸術イベントの誘致、開催」31.9%、「子どもたちへ文化芸術活動を伝える教室等の開催」31.5%、「文化振興のためのアイデアの提供」28.5%、「市内外への情報発信」27.6%となっている。

以下、「文化芸術活動の鑑賞機会提供」21.2%、「文化財や伝統芸能のボランティアによる継承活動」17.1%、「文化芸術イベント運営へのボランティア参加」13.7%、「文化振興を目的とした資金提供、募金」10.5%、「ボランティアによる野外彫刻清掃」8.0%と続き、様々な活動が必要という認識を持つ市民が多いと言える。

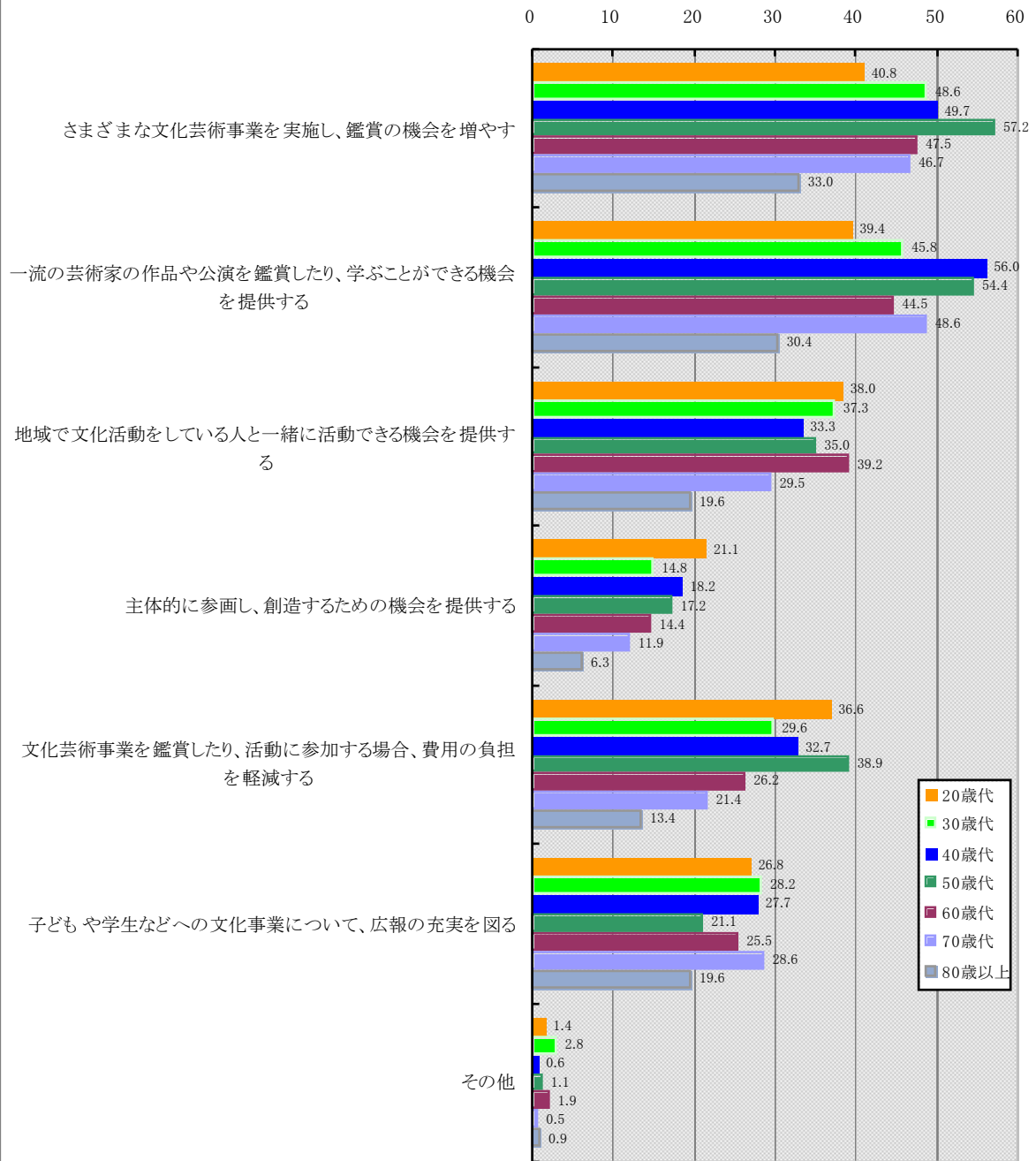
男女別では、「文化芸術イベントの誘致、開催」、「市内外への情報発信」については男性の割合が、「子どもたちへ文化芸術活動を伝える教室等の開催」、「文化財や伝統芸能のボランティアによる継承活動」、「文化芸術イベント運営へのボランティア参加」については、女性の割合が高い。年代別では、「子どもたちへ文化芸術活動を伝える教室等の開催」、「文化芸術イベント運営へのボランティア参加」、「市内外への情報発信」について、若年層の割合が高い。

【問28】子どもの人材育成推進のために重視すべき取組みは何か ※複数回答

%



【問28】子どもの人材育成推進のために重視すべき取組みは何か(年代別) ※複数回答



学校との連携
その他 自国文化を誇りに思えるよう教育していく 大学生と子供達、老成人達の交流の場作り

子どもの人材育成推進のために重視すべき取組みについては、「さまざまな文化芸術事業を実施し、鑑賞の機会を増やす」47.4%、「一流の芸術家の作品や公演を鑑賞したり、学ぶことができる機会を提供する」46.7%とほぼ同数に大きく占めている。続いて「地域で文化活動をしている人と一緒に活動できる機会を提供する」33.4%、「文化芸術事業を鑑賞したり、活動に参加する場合、費用の負担を軽減する」28.0%、「子どもや学生などへの文化事業について、広報の充実を図る」25.5%、「主体的に参画し、創造するための機会を提供する」14.7%となっている。

男女別については、「さまざまな文化芸術事業を実施し、鑑賞の機会を増やす」、「一流の芸術家の作品や公演を鑑賞したり、学ぶことができる機会を提供する」、「文化芸術事業を鑑賞したり、活動に参加する場合、費用の負担を軽減する」他については、女性の割合が高く、「主体的に参画し、創造するための機会を提供する」、「子どもや学生などへの文化事業について、広報の充実を図る」については、男性の割合が高い。年代別については、「文化芸術事業を鑑賞したり、活動に参加する場合、費用の負担を軽減する」、「主体的に参画し、創造するための機会を提供する」について、若年層の割合が高い。

6 自由記述意見[抜粋]

○取組み全般について

- ・ 市外からもたくさんの方が訪れたいような文化の香り高いまちづくりを望みます。また、若い人たちが望む“文化都市”とはどういうものなのかを追求し、実現して欲しいと思います。
- ・ 文化芸術振興にはお金がかかる。空港のメリットを生かすことを視点に芸術サイクルを考える。
- ・ 県内、市内のあらゆる人での演劇 or 映画など作成をしたりして、何か宇部の目玉を作りたい。東京方面から宇部空港～宇部芸術観光～湯本や湯田の温泉や海響館など観光につなげ、宇部を活性化できたらいいのと思う。
- ・ 文化芸術振興に換えて、若者が魅力ある（職場）まちづくりが必要。
- ・ 財政が厳しい中、文化芸術振興に宇部市の財政を使わなければならないのでしょうか？宇部市が豊かになれば、自然と文化にも興味がわくのではないのでしょうか。
- ・ 文化よりも使うべき資金が他にある。シャッター通りを何とかしたり、荒地地になっている市の土地を活用したり、市街地を安心して歩ける街づくりを。
- ・ 国や市がすることは、一部の催しや文化芸術に加担すべきではない。自主性にまかせるべきである。この不景気に借金までしてすべきものではない。税金投入は許さない。
- ・ 市の文化施設においても、トップは市職員の天下り人材で占められています。各施設に文化的人材を配置するだけでも、考え方や活動内容も違ってくると思います。宇部市が何を目指すのか明確にして、人材育成からもっと真剣に取り組んで頂きたいと思います。文化的事業を考える際にも、市民の中の有識者を積極的に公募すべきだと思います。
- ・ 活動は市民が主体となって、市はそれを支援する体制が良いと思います。例としては、ボランティア教室開催のための場所提供、講師募集広報など。
- ・ 私は、宇部市は県内において、文化芸術については上位の活動をしていると思います。さらに本運動に対する市民の意識の高揚を図り、各校区で推進し、市民総参加の方向で努力すべきだと思います。
- ・ 文化芸術振興に関する予算にも限りがあることだと思うので、メリハリをつけた予算配分とし、民間にある程度は依頼し、補助金を出すようにしてみたいかでしょうか？
- ・ 数年前に宇部に戻ってきたが、他県では自由に参加して楽しむ機会も多く、いろいろな面で少々がっかりしています。物の考え方、県民性もあると思いますが、これからスローでいい、ゆっくり味わい楽しめる文化向上を願っています。

○広報・宣伝等について

- ・ ただ彫刻展示をするから見に来てくださいといった広報では駄目だ。従来の芸術展示でいくならもっと若い世代にも興味をもってもらえるような広報活動をした方が良いのではないかと。
- ・ 大型商業施設等にもっと情報を掲示できる場所を作ってみてはどうでしょう。多様な年齢層の人の集まる場所の方が良いのでは？（2件）
- ・ 宇部市は、文化財、ときわ公園、彫刻や伝統芸能等室ものが沢山ありますが、それぞれ単独に動いてバラバラだったり、もう少し内外への情報発信を上手にすれば良い結果が出る。先日、親子で早朝から街中の彫刻をきれいにしていた団体を見て、とてもうれしい気持ちになり感謝しました

○文化施設について

- ・ まずは施設を整えるべきだと思います。古い物を残すのも大切だとは思いますが、思い切って新しい物に建て替えることも必要な気がします。宇部市は時代遅れといった感じがします。古い建物を大事にしすぎて進歩がないと思います。残すべき物、捨てる方が良い物をしっかり見極め、未来を生きる子どもたちのために文化的に充実している街にして欲しいと思います。
- ・ 文化施設が中途半端なため、廃止 or 縮小。駐車場を備えた大規模な施設建設を行う。民間運営の誘致。
- ・ 文化会館をもっと整備し、コンサート等の本格的レベルの高いものを召致出来るようにする。
- ・ 施設の利用時間の拡大。
- ・ 小野、楠に新しい施設ができていますが、車を使わないものには遠すぎるので、ときわ公園や新天町、銀天街の利用などをもっと検討したらと思う。
- ・ 私達は、現代を生きていますが、音楽で演奏される機会が多いのは昔の音楽が多く、なぜかコンテンポラリーの、あるいは日本人が作曲した楽曲が演奏されることがあまりなく、記念会館の行事プログラムは100年くらい時間が止まっているのではないかと思ってしまいます。私達は今を生きています。文化芸術の「今」を体感することは、今しかないのではないのでしょうか。
- ・ 渡辺翁にもっと若者を呼べるイベント・コンサートを増やして欲しい。(6件)
- ・ 渡辺翁記念会館が宝のもちぐされ状態に見えるのは惜しいと思います。誇れる文化財と良質なイベントを組み合わせれば宇部市も知的な街になれそう…。
- ・ 渡辺翁記念会館と文化会館は同時にイベントを行うことが多く、駐車スペースがすぐに満車となり、その場合、渡辺翁記念会館の階段下に駐車することになるのだが、その対応が遅く、誘導員の姿が見えないことがある。駐車できないために長時間待たされるか、諦めて帰るのはもったいない話だと思う。
- ・ 本格的な美術館が是非欲しい。資金、管理、運営等は大変難しいとは思いますが、これを中心に文化の町にしていけたらと思います。次世代の文化意識の推進のためにも。
- ・ 既存の建物を活用して美術館ができないか。活用されていない銀天街などの活用ができればいいと考えている。

○彫刻について

- ・ 市をあげて熱心でいいと思います。他にない特色だと思います。ボランティアで野外彫刻の清掃等があるなら、是非参加してみたいと思っています。
- ・ 街の彫刻について言うなら、周りの景観が良くなければそれは道ばたに置かれたガラクタと同じじゃないだろうか？彫刻を美しくみせるなら空間も大切だと私は思う。
- ・ UBE ビエンナーレのおかげで、市内に多数の彫刻がありますが、その彫刻が何を表現しているかを表示する説明板があれば良いと思う。
- ・ 市のいろいろな所で彫刻を見ることができると、素晴らしいことだと思うけれど、まだ一部の人がしか参加していない(一部の人だけが盛り上がっている)というイメージ
- ・ 宇部市の“売り”でもある「花と緑と彫刻のまち」は正直、言葉だけであまりアピールされていないのではないのでしょうか？市内にたくさんの彫刻はありますが、ただあるだけで、それをうまくアピール

出来ていない気がします。

- ・ ときわミュージアムは、本館と別館が離れすぎている。点と点としてのあり方である。点を結ぶ動線が弱い。本館と別館を結ぶ橋を利用して回廊ギャラリーを作って欲しい。
- ・ どうして彫刻にばかり力を入れるのがわかりません。今後は絵画にもふれてみたいです。
- ・ 至る所に芸術作品や彫刻などが設置してありますが、率直に言って街並みとアンバランスだと感じています。また、美術の専門家にとってはすばらしい作品なのかもしれませんが、私にとっては理解できないものが多いです。もっとわかりやすいものを置いた方がいいのではないかと思います。(2件)
- ・ 宇部市の野外彫刻展は開催されて数十年経過していますが、入賞作品が常盤公園や市街地に設置されていますが、すでに古くなった廃物のような作品や安易な造形作品が多いもので、美的な作品とはいえません。もう少し「正統性のある彫刻作品」を展示されるとよいと思いますし、そろそろ見直す時期ではないですか？例えば「佐藤忠良」氏の作品、多少高価ですが、宇部市民は抽象的な立体構成（野外彫刻）に理解されているか疑問です。もっと一流を展示されると「文化都市宇部」になるのではと思っています。
- ・ 彫刻の町、宇部市は彫刻にお金をかけすぎ。毎年ではなく五年に一回とか税金は財政を考え、今はお金をかけずにもっとそれを生かす方法を考え、市民活動する場を広げ、だれもが参加できる身近なものを増やした方がよい。これ以上町に彫刻を増やすより、市を市民を活動しやすくした方がいいと思う。又その発表の場所、大会を増やして芸術の振興をしてほしい。

○催し物、イベントについて

- ・ 宇部はもっと人を集めるイベントを企画し、情報を発信することで、市民が元気で活力ある姿に接してみたいものである。宇部のシンボルでもあった市民館も今は元気がないようだ。
- ・ イベントの内容がマンネリ気味なのは？広い年代の人からアイデアを集め、取捨選択されたら如何でしょうか。
- ・ 一流の芸術に触れる機会を増やすことが、学生や子どもまたは若い社会人に文化芸術を継承していってもらおう近道かと思う。色々な分野があって良いと思う。大切なのはそれを継承していってくれる人材が多く生まれるが、又それを広域に充実できるかだと思う。
- ・ 昔より宇部市は高い文化的意識があるまれに見る地方です。私も幼少より父母が芸術的で、質の高いオーケストラ・バレエ・絵画・劇など多数鑑賞させてくれ、高質の文化に触れることができたことが私の財産です。質の高い文化を育む世界に一つの個性的な街を作ってください。
- ・ 宇部市には西野新川画伯という立派な人がいらっしゃって素敵な画が沢山あると思います。その画を鑑賞する機会が少なく残念な気がします。又、他にも有名な人もいらっしゃいます。そんな画を発表できる場があればいいと思います。
- ・ 他の都市（周南市、山口市、長門市等）に比べ、文化的なイベント（音楽コンサート、演劇等）が少ない。(4件)

○文化財、旧跡の整備・保存について

- ・ 既存文化財・旧跡の整備、保存処置を十分にしたい。子供たちに現場で教えるのに役立つ産業遺産整備が必要だと思います。

- ・ 高齢化により、無形文化財が継承されにくくなっている。特定の地域の人に限らず、広く募集して継承したらどうでしょうか。
- ・ 「名所・旧跡マップ」を作って、広報と一緒に配布。スタンプラリーのようにしていくつかスタンプをためて、市役所へ持って行くとちょっとした記念品がもらえるようにすると、子どもたちも楽しめるのではないかな。
- ・ 歴史の人物が今流行りなので、山口県の歴史の有名な人物と文化や芸術を合わせてみてはどうか。古い物を大切に、歴史を残す活動も大切だと思います。

○子どもたちを対象にした取組みについて

- ・ 現在の若い世代は文化芸術にあまり関心がなくなっている。もっと小・中・高校と学生の時からいろいろな文化に参加する機会を与え、少しでも関心を持ち、興味を持たせることも大切であると思う。それが世代を受け継ぎ、長く活動することにつながるのではないのでしょうか。
- ・ 子ども達が一流の芸術家さんや演者さんのパフォーマンスに触れる機会をもっと増やして欲しいという事です。できれば費用があまりかからずに、皆平等に鑑賞でき、子どものうちに本物を見て欲しいと思います。子どもの時の感動は、心を豊かにすると実感しています。
- ・ 子ども達のために、一流の音楽界、ミュージカル等を学校から引率して鑑賞させるようにしてほしい。
- ・ 小・中学校での一流の演奏会のコンサートはずっとやってほしい。
- ・ 公的機関からの押し付けでは、振興にはつながるとは考えられない。子どもころから情操が必要と考える。そこには学校での取り組みが必要であるが、その為には、教育のみならず、指導者たる教師の資質にもかかわってくる